

予算科目	10 款	教育費	基本計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち						
	1 項	教育総務費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する						
	2 目	事務局費		(3)	充実した教育を行える環境をつくる						
小 事 業		教育総務事務局費									
事 業 名		教職員健康診断実施事業									
目的及び事業内容		<p>定期健康診断の確実な実施により教職員の健康状態を把握し、疾患の早期発見や疾病予防に資する。</p> <p>・教職員健康診断の実施</p>									
取 組 実 績		<p>定期健康診断検査項目 診察、身体測定、心電図、血圧、白血球、便潜血、肝臓・尿路系、糖代謝、眼底、肝臓、脂質代謝、血液、胃部X線 健康診断については、市内の教職員のうち人間ドックを受診したものを除き、全員を対象とし実施した。 また、近年増加傾向にあり今後の課題である、精神的な病気へのケアにおいて、正規の勤務時間外における長時間労働者で希望する者へ、医者との面接指導を実施した。</p>									
成 果		<p>定期健康診断を行い、正しく受診することにより健康状態を把握することや、疾患の早期発見、疾病の予防に役立つことができた。</p> <table style="margin-left: 40px;"> <tr> <td>教職員数</td> <td style="text-align: right;">1,206 人</td> </tr> <tr> <td>健診受診者数</td> <td style="text-align: right;">856 人</td> </tr> <tr> <td>人間ドック受診 (婦人科健診者を除く)</td> <td style="text-align: right;">212 人</td> </tr> </table> <p>受診率 <u>88.56%</u></p>				教職員数	1,206 人	健診受診者数	856 人	人間ドック受診 (婦人科健診者を除く)	212 人
教職員数	1,206 人										
健診受診者数	856 人										
人間ドック受診 (婦人科健診者を除く)	212 人										
成果に係る評価		<p>健康維持・増進や疾病予防に効果を上げているが、近年、精神的な負担が増えている状況が見られ、メンタル面に係る対応についても検討していく必要があることから、正規の勤務時間外における長時間労働者で希望する者へ、医者との面接指導を実施した。</p>									
(単位：円)											
予算の執行状況	予算額		決算額の財源内訳								
	決算額		国(県)支出金	地方債	その他	一般財源					
	11,000,000	10,667,001				10,667,001					

予算科目	10 款	教育費	基本計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち												
	1 項	教育総務費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する												
	3 目	教育指導奨励費		(3)	充実した教育を行える環境をつくる												
小 事 業	教育指導奨励費																
事 業 名	教育研究団体等支援事業（文化活動補助事業）																
目的及び事業内容	<p>小・中学校文化活動（音楽コンクール等）の充実を図るとともに、県大会以上の大会へ出場する際の交通費による保護者負担を軽減する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助金の交付（体育活動については体育振興課所管） 																
取 組 実 績	<p>補助金の交付 音楽コンクール県大会以上に参加した小中学校に対し、大会に参加する交通費の一部及び楽器輸送費を助成した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県大会参加回数 7回（5校） ・東北大会参加回数 1回（1校） ・補助金交付額 272,250円 																
成 果	<p>音楽コンクールにおける県大会等への参加に係る保護者負担の軽減が図られた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>主な指標項目</th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>補助対象校（補助件数）</td> <td>4校（8件）</td> <td>4校（10件）</td> <td>5校（8件）</td> </tr> <tr> <td>補助金交付額</td> <td>196,300円</td> <td>308,436円</td> <td>272,250円</td> </tr> </tbody> </table>					主な指標項目	H19	H20	H21	補助対象校（補助件数）	4校（8件）	4校（10件）	5校（8件）	補助金交付額	196,300円	308,436円	272,250円
主な指標項目	H19	H20	H21														
補助対象校（補助件数）	4校（8件）	4校（10件）	5校（8件）														
補助金交付額	196,300円	308,436円	272,250円														
成果に係る評価	<p>各学校での文化活動に対する補助は、県大会等に参加する際の保護者負担軽減の観点から、継続して推進することが必要である。 また、現在の基準は旧市内小・中学校のみ対象となっているため、市内全域を対象とした基準に統一する必要があるが、体育活動補助金との整合を図りながら検討する必要がある。</p>																
予算の執行状況	（単位：円）																
	予算額	決算額	決算額の財源内訳														
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源											
420,000	272,250				272,250												

予算科目	10 款	教育費	基本計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち																
	1 項	教育総務費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する																
	3 目	教育指導奨励費		(3)	充実した教育を行える環境をつくる																
小 事 業	奨学資金費																				
事 業 名	奨学金貸与事業																				
目的及び事業内容	石巻市奨学金貸与条例、石巻市篤志奨学資金貸与基金条例の理念に基づき奨学金を貸与し、有能な人材を育成する。 ・奨学金の貸与、償還																				
取 組 実 績	<p>1 奨学金の貸与</p> <p>(1) 奨学生の新規募集を行い、奨学生選考委員会で41名の新規貸与者を決定した。</p> <p>(2) 貸与区分（月額）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>貸与月額</th> <th>区 分</th> <th>貸与月額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高校在学</td> <td>15,000円</td> <td>高工専在学</td> <td>第3学年まで 第4学年以上</td> <td>15,000円 35,000円</td> </tr> <tr> <td>大学在学</td> <td>35,000円</td> <td>専修学校在学（専門課程）</td> <td></td> <td>35,000円</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 貸与者数 144名 (4) 貸与金額 50,400,000円</p> <p>2 奨学金の償還 滞納者対策の実施 支払催告通知の発送、電話催告を随時実施した。</p>					区 分	貸与月額	区 分	貸与月額	高校在学	15,000円	高工専在学	第3学年まで 第4学年以上	15,000円 35,000円	大学在学	35,000円	専修学校在学（専門課程）		35,000円		
区 分	貸与月額	区 分	貸与月額																		
高校在学	15,000円	高工専在学	第3学年まで 第4学年以上	15,000円 35,000円																	
大学在学	35,000円	専修学校在学（専門課程）		35,000円																	
成 果	<p>有能にも関わらず経済的理由で修学困難な生徒及び学生に教育の機会を与えた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>主な指標項目</th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>奨学金貸与者数 （うち新規貸与者数）</td> <td>203人（56人）</td> <td>152人（35人）</td> <td>144人（41人）</td> </tr> <tr> <td>貸与金額</td> <td>72,413,000円</td> <td>53,280,000円</td> <td>50,400,000円</td> </tr> <tr> <td>滞納額</td> <td>20,321,000円</td> <td>24,293,600円</td> <td>28,658,000円</td> </tr> </tbody> </table>					主な指標項目	H19	H20	H21	奨学金貸与者数 （うち新規貸与者数）	203人（56人）	152人（35人）	144人（41人）	貸与金額	72,413,000円	53,280,000円	50,400,000円	滞納額	20,321,000円	24,293,600円	28,658,000円
主な指標項目	H19	H20	H21																		
奨学金貸与者数 （うち新規貸与者数）	203人（56人）	152人（35人）	144人（41人）																		
貸与金額	72,413,000円	53,280,000円	50,400,000円																		
滞納額	20,321,000円	24,293,600円	28,658,000円																		
成果に係る評価	昨今の経済情勢下において、より多くの生徒や学生が奨学制度を利用できるよう採用条件の緩和等を検討し、募集時における評定平均の緩和や家計急変等に対応するための年度内途中採用を平成22年度より実施することとした。																				
（単位：円）																					
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																		
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源															
	50,607,000	50,587,593			50,587,593																

予算科目	10 款	教育費	基本計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち								
	1 項	教育総務費		第 3 節	新たな時代を創造する人材を育成する								
	3 目	教育指導奨励費		(1)	広い視野を持つ人材をはぐくむ								
小 事 業	外国青年英語指導費												
事 業 名	国際理解教育推進事業												
目的及び事業内容	幼稚園及び小・中・高等学校における A L T (外国語指導助手) を活用しての授業や交流を通して、英語教育と国際理解教育の充実を図る。 ・小・中・高等学校における英語教育の充実と、国際理解教育の推進												
取 組 実 績	小・中・高等学校における外国語教育の充実と国際理解教育の推進 1 A L T 10 名が市立中・高等学校を年間35日訪問し、各校の英語学習と国際理解教育活動の充実を図った。 2 市立幼稚園、小学校、けやき教室を訪問し、外国語活動や国際理解教育の充実を図った。												
成 果	A L T が中学校、高等学校を中心にしながら、小学校・幼稚園・けやき教室にも訪問し、英語活動や国際理解教育を進めることができた。												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>主な指標項目</th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A L T との授業が楽しいと感じる生徒の割合</td> <td>43.5% (中学2年生)</td> <td>75.4% (中学1・2年生)</td> <td>81.3% (中学1・2年生)</td> </tr> </tbody> </table>				主な指標項目	H19	H20	H21	A L T との授業が楽しいと感じる生徒の割合	43.5% (中学2年生)	75.4% (中学1・2年生)	81.3% (中学1・2年生)	
主な指標項目	H19	H20	H21										
A L T との授業が楽しいと感じる生徒の割合	43.5% (中学2年生)	75.4% (中学1・2年生)	81.3% (中学1・2年生)										
成果に係る評価	平成23年度からは、小学校でも外国語活動が完全実施され、その対応として指導員の配置を検討していることから、今後は A L T の小学校への訪問回数を減少させ、中学校・高等学校への訪問回数を増やす方向である。 また、今後は A L T を J E T (外国語生年招致事業) から N o n - J E T (国内の民間事業者) に段階的に切り替えていく方向で検討したい。												
(単位:円)													
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳										
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源							
	47,584,000	46,712,867				46,712,867							

予算科目	10 款	教育費	基本計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち																																			
	1 項	教育総務費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する																																			
	3 目	教育指導奨励費		(3)	充実した教育を行える環境をつくる																																			
小 事 業	ハイスクールカウンセラー配置事業費																																							
事 業 名	ハイスクールカウンセラー配置事業																																							
目的及び事業内容	<p>カウンセラーによる相談活動を通して、生徒・保護者・教職員の精神的安定を図るとともに、問題行動等の未然防止や解決による生徒の健全育成に資する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハイスクールカウンセラーの配置 ・生徒・保護者・教職員へのカウンセリングの実施 ・学校におけるカウンセリング講座等の支援活動 																																							
取 組 実 績	<p>1 ハイスクールカウンセラーの配置 市立高等学校2校に配置</p> <p>2 生徒・保護者・教職員の要望に応じたカウンセリングの実施 1日6時間、年間30日の勤務を原則とし、月平均2～3日の勤務体制でカウンセリングを実施した。</p> <p>3 カウンセリング講座等の支援活動 (1) 教職員を対象としたカウンセリング講座の実施 (2回) (2) 教育相談情報交換会 (3回) 及びケース会議 (1回) の実施</p>																																							
成 果	<p>生徒の不安や悩みの状況に応じたカウンセリングが実施されており、生徒の心の安定を図る上で効果的に機能している。</p> <p>また、特に支援が必要な生徒については、カウンセラー・教育相談係・養護教諭・担任等との連携により、本人及び保護者に対するアドバイス等を行うことで成果が上がっている。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>主な指標項目</th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th colspan="2">H21</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>相談件数</td> <td>273件</td> <td>216件</td> <td colspan="2">220件</td> </tr> <tr> <td>相談人数</td> <td>353人</td> <td>317人</td> <td colspan="2">305人</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>H21相談人数内訳</th> <th>生 徒</th> <th>教 員</th> <th>保 護 者</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>女子高校</td> <td>36人</td> <td>92人</td> <td>12人</td> <td>140人</td> </tr> <tr> <td>女子商業高校</td> <td>30人</td> <td>117人</td> <td>18人</td> <td>165人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>66人</td> <td>209人</td> <td>30人</td> <td>305人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 教員の相談人数は、全て「情報交換」である。</p>					主な指標項目	H19	H20	H21		相談件数	273件	216件	220件		相談人数	353人	317人	305人		H21相談人数内訳	生 徒	教 員	保 護 者	計	女子高校	36人	92人	12人	140人	女子商業高校	30人	117人	18人	165人	計	66人	209人	30人	305人
主な指標項目	H19	H20	H21																																					
相談件数	273件	216件	220件																																					
相談人数	353人	317人	305人																																					
H21相談人数内訳	生 徒	教 員	保 護 者	計																																				
女子高校	36人	92人	12人	140人																																				
女子商業高校	30人	117人	18人	165人																																				
計	66人	209人	30人	305人																																				
成果に係る評価	<p>多感な時期にある高校生は、カウンセリングによって支えられる部分も大きく、心の安定と不安等の解消のための相談体制を維持することは重要である。この観点からハイスクールカウンセラー配置事業の効果は大きく、今後も継続が必要である。</p>																																							
予算の執行状況	(単位：円)																																							
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																		
1,889,000	1,888,200				1,888,200																																			

予算科目	10 款	教育費	基本計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち																						
	1 項	教育総務費		第 2 節	地域全体で子どもたちを育成する																						
	3 目	教育指導奨励費		(1)	地域・家庭の教育力を強化する																						
小 事 業	いじめ・生徒指導問題対策費																										
事 業 名	いじめ・生徒指導問題対策事業																										
目的及び事業内容	<p>いじめに関する問題に組織的に対応するため、関係機関等との連携を推進するほか、教員や保護者対象の研修を通して「いじめを許さない風土づくり」を進め、いじめの未然防止及び早期解決を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いじめ生徒指導問題対策委員会の実施 ・いじめの防止や解決にかかる研修会の実施 ・「いじめ防止標語・心のメッセージ集」の作成・配布 ・「Stopいじめ！石巻市子どもサミット」の実施 																										
取 組 実 績	<p>1 いじめ・生徒指導問題対策委員会の開催 市内の生徒指導上の諸問題について、19名の委員が3回の情報交換を行ったほか、有効な連携の在り方について協議した。</p> <p>2 いじめ・生徒指導問題対策にかかる研修会の開催</p> <p>(1) 中学校区研修会 23中学校区で、それぞれがもつ生徒指導上の課題に対応するため、教職員・保護者・生徒等を対象に講話などの研修会を実施した。(各中学校区で1回ずつ実施)</p> <p>(2) 学校不適応・保健室登校研修会 小・中学校の養護教諭を対象に、実際の事例をもとに、不登校への適切な対応や未然防止等について研究協議を行った。(全体で1回実施)</p> <p>3 「いじめ防止標語・心のメッセージ集」作成 いじめ防止標語(小・中・高)、いじめ防止メッセージ(中・高)を募集し、メッセージ集を作成して各学校や関係機関に配布し、意識啓発に努めた。</p> <p>4 「Stopいじめ！石巻市子どもサミット」の実施 市内23中学校から代表生徒2名が参加し、市内全体のいじめ把握に向けた宣誓文を作成した。</p>																										
成 果	<p>「いじめ」は、メッセージ集の作成や研修会の開催により小学校において減少傾向にあるが絶無と云えない。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2">主な指標項目</th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl;">いじめの件数</td> <td>小学校</td> <td>25件</td> <td>10件</td> <td>4件</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>29件</td> <td>25件</td> <td>15件</td> </tr> <tr> <td>高校</td> <td>14件</td> <td>15件</td> <td>2件</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>68件</td> <td>50件</td> <td>21件</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 継続的な指導及び経過の観察が必要な件数</p>					主な指標項目		H19	H20	H21	いじめの件数	小学校	25件	10件	4件	中学校	29件	25件	15件	高校	14件	15件	2件	計	68件	50件	21件
主な指標項目		H19	H20	H21																							
いじめの件数	小学校	25件	10件	4件																							
	中学校	29件	25件	15件																							
	高校	14件	15件	2件																							
	計	68件	50件	21件																							
成果に係る評価	<p>件数は減少傾向にあるものの、いじめなどの生徒指導上の諸問題は、依然として憂慮すべき状況であり、本事業の中で全市的な取組を推進することが大切と考える。</p> <p>平成22年度も「Stopいじめ！石巻市子どもサミット」を実施し、中学校区でのいじめ根絶に向けた取組を紹介しあうとともに、今後は、中学校区においても同様の活動を実施するなど、小・中一体となったいじめ根絶に向けた取り組みを検討していく必要がある。</p>																										
(単位：円)																											
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																								
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																					
	910,000	401,874				401,874																					

予算科目	10 款	教育費	基本計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち																
	1 項	教育総務費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する																
	3 目	教育指導奨励費		(2)	児童・生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ																
小 事 業	適応指導教室運営費																				
事 業 名	適応指導教室運営事業																				
目的及び事業内容	<p>不登校児童生徒個々の実態等に応じた生徒指導、学習指導、適応指導を行い、自立を促しながら学校への復帰を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通所児童生徒との教育相談及び学校、保護者との連携 ・児童生徒の実態等に応じた学習指導 ・望ましい人間関係、仲間づくりを目的とした体験活動の充実 																				
取 組 実 績	<p>1 通所児童生徒との教育相談及び学校、保護者との連携 通所児童生徒や保護者との定期的教育相談を行ったほか、機会をとらえての相談等も行って悩み等に受容的に対応した。</p> <p>2 児童生徒の実態等に応じた学習指導 (1) 通所児童生徒一人一人の実態や学年を踏まえ、適切な教材を準備し、個に応じた指導・支援を行った。 (2) 在籍校との連携を深め、学級担任との連絡を密に行ったほか、適応指導教室での定期考査受験や学校で使用しているプリントでの学習などにより、帰属感の育成を図った。</p> <p>3 望ましい人間関係、仲間づくりを目的とした体験活動の充実 牧山へのハイキング、歴史資料館の見学や園芸教室、野鳥観察、清掃活動等の体験活動を通して、仲間とともに活動する楽しさや成就感を味わせた。</p>																				
成 果	<p>教育相談活動や学習活動、体験活動の充実、保護者や学校との連携強化により、児童生徒の再登校への意欲を高め、一定の成果をあげている。 しかし、適応指導教室通所児童生徒の状況は個々によって多様であり、再登校に向けての糸口を見つけることは難しくなっている。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>主な指標項目</th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>不登校児童生徒の保護者、担任等との相談件数</td> <td>82件</td> <td>85件</td> <td>90件</td> </tr> <tr> <td>通所児童生徒の再登校率</td> <td>12.5%</td> <td>16.7%</td> <td>22.2%</td> </tr> <tr> <td>通所児童生徒の部分登校率 (再登校者を含む)</td> <td>62.5%</td> <td>83.3%</td> <td>70.0%</td> </tr> </tbody> </table>					主な指標項目	H19	H20	H21	不登校児童生徒の保護者、担任等との相談件数	82件	85件	90件	通所児童生徒の再登校率	12.5%	16.7%	22.2%	通所児童生徒の部分登校率 (再登校者を含む)	62.5%	83.3%	70.0%
主な指標項目	H19	H20	H21																		
不登校児童生徒の保護者、担任等との相談件数	82件	85件	90件																		
通所児童生徒の再登校率	12.5%	16.7%	22.2%																		
通所児童生徒の部分登校率 (再登校者を含む)	62.5%	83.3%	70.0%																		
成果に係る評価	<p>平成21年度の不登校児童生徒が小・中合わせて200人を超し、不登校状態が長期に及ぶケースも少なくない。各学校で改善のための努力はしているが、指導が困難な事例も多く、不登校児童生徒の減少には至っていないことから、専門的な対策チームを構成して本人や家庭に積極的に働きかける必要がある。そのため、適応指導教室を基盤とし、カウンセラー、指導員、ボランティア、医師等による相談や指導ができる不登校支援センター設置の検討が必要である。</p>																				
予算の執行状況	(単位：円)																				
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																		
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源															
4,717,000	4,683,469			735,000	3,948,469																

予算科目	10 款	教育費	基本計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち																																												
	1 項	教育総務費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する																																												
	3 目	教育指導奨励費		(3)	充実した教育を行える環境をつくる																																												
小 事 業	スクールカウンセラー配置事業費																																																
事 業 名	スクールカウンセラー配置事業																																																
目的及び事業内容	<p>カウンセラーの相談活動により、生徒・保護者・教職員の心理面における安定を図るとともに、生徒の健全育成に資する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スクールカウンセラーの配置 ・生徒・保護者・教職員・学区内小学生等の要望に応じたカウンセリングの実施 ・カウンセラーを活用してのカウンセリング研修等の実施 																																																
取 組 実 績	<p>1 スクールカウンセラーの配置 中学校全23校に配置（臨床心理士11人、臨床心理士に準ずる者12人）</p> <p>2 カウンセリングの実施状況 (1) 各学校 年間33日 (2) 1日のカウンセリング実施時間（県で決定） 8時間…1校、6時間…18校、4時間…4校</p> <p>3 カウンセラーを活用してのカウンセリング研修等の実施 各学校で研修日を設定して実施 （内容）カウンセリング実技研修、カウンセリング理論、エンカウンター実習など</p>																																																
成 果	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>主な指標項目</th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>相談件数</td> <td>3,401件</td> <td>3,523件</td> <td>3,206件</td> </tr> <tr> <td>相談人数</td> <td>4,774人</td> <td>4,266人</td> <td>4,149人</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">H21相談人数割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童生徒</td> <td>46.6%</td> </tr> <tr> <td>教 員</td> <td>44.4%</td> </tr> <tr> <td>保 護 者</td> <td>9.0%</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>H21主な相談内容</th> <th>生徒</th> <th>児童</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学校生活</td> <td>340件</td> <td>12件</td> <td>352件 (11.0%)</td> </tr> <tr> <td>学校不適応</td> <td>418件</td> <td>7件</td> <td>425件 (13.3%)</td> </tr> <tr> <td>人間関係</td> <td>253件</td> <td>3件</td> <td>256件 (8.0%)</td> </tr> <tr> <td>進 路</td> <td>140件</td> <td>2件</td> <td>142件 (4.4%)</td> </tr> <tr> <td>家 族</td> <td>93件</td> <td>6件</td> <td>99件 (3.1%)</td> </tr> </tbody> </table>					主な指標項目	H19	H20	H21	相談件数	3,401件	3,523件	3,206件	相談人数	4,774人	4,266人	4,149人	H21相談人数割合		児童生徒	46.6%	教 員	44.4%	保 護 者	9.0%	H21主な相談内容	生徒	児童	計	学校生活	340件	12件	352件 (11.0%)	学校不適応	418件	7件	425件 (13.3%)	人間関係	253件	3件	256件 (8.0%)	進 路	140件	2件	142件 (4.4%)	家 族	93件	6件	99件 (3.1%)
主な指標項目	H19	H20	H21																																														
相談件数	3,401件	3,523件	3,206件																																														
相談人数	4,774人	4,266人	4,149人																																														
H21相談人数割合																																																	
児童生徒	46.6%																																																
教 員	44.4%																																																
保 護 者	9.0%																																																
H21主な相談内容	生徒	児童	計																																														
学校生活	340件	12件	352件 (11.0%)																																														
学校不適応	418件	7件	425件 (13.3%)																																														
人間関係	253件	3件	256件 (8.0%)																																														
進 路	140件	2件	142件 (4.4%)																																														
家 族	93件	6件	99件 (3.1%)																																														
成果に係る評価	<p>配置校の生徒・保護者・職員からの相談に対応することで、積極的生徒指導推進に資することから継続していく必要がある。今後は、小学校への啓発について検討していく必要がある。</p>																																																
予算の執行状況	（単位：円）																																																
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																														
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																											
727,450	608,917				608,917																																												

予算科目	10 款	教育費	基本計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	
	1 項	教育総務費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する	
	3 目	教育指導奨励費		(2)	児童・生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ	
小 事 業		特別支援教育事業費				
事 業 名		特別支援教育支援員配置事業				
目的及び事業内容		<p>通常の学級に在籍している発達障害を持つ児童の日常生活支援及び学習指導補助を行うため、学校に支援員を配置する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校へ支援員の配置 ・当該児童への支援の工夫 				
取 組 実 績		<p>1 支援員の配置状況 市内小学校 17校に配置 石巻小、門脇小、湊第二小、釜小、山下小、蛇田小、渡波小、稲井小、向陽小、貞山小、万石浦小、中里小、鹿妻小、雄勝小、広瀬小、和瀬小、中津山第二小</p> <p>2 通常学級における当該児童への支援 通常学級に在籍する、知的障害、LD（学習障害）、ADHD（注意欠陥多動性障害）、高機能自閉症、選択的緘黙、ダウン症等の子どもたちへの学習・生活支援をすることで、担任教員の指導補助を行った。各学校では、学級や個人への支援のあり方について研修するなどして、支援員の活用を工夫した。</p>				
成 果		<p>特別な支援を必要とする子どもの実情等応じた学習・生活指導についての充実が図られた。また、支援対象児童の保護者から、「支援が充実したことで安心できる、感謝している」という声が多く寄せられている。</p> <p>各学校における特別支援教育に関する研修の充実が図られた。</p>				
成果に係る評価		<p>特別支援教育の転換により、通常学級における特別な支援の充実が求められていることから、特別支援教育支援員の存在は、障害をもつ児童生徒への支援や学級への学習指導等の充実につながるなど、大きな成果をあげている。学校や保護者から、事業拡充を望む声も大きいことから、今後配置拡充が必要である。</p>				
(単位：円)						
予算の執行状況	予算額		決算額の財源内訳			
	決算額		国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	17,254,000	16,656,350				16,656,350

予算科目	10 款	教育費	基本計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち						
	1 項	教育総務費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する						
	3 目	教育指導奨励費		(2)	児童・生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ						
小 事 業	就学前ことばの教室運営費										
事 業 名	就学前ことばの教室運営事業										
目的及び事業内容	言語の障害を早期に発見し、適切な矯正支援を行う ・ことばの診断、教育相談の実施 ・ことばの教室における指導										
取 組 実 績	1 ことばの診断、教育相談の実施 河北幼稚園、飯野川保育所、大川保育所、二俣保育所、大谷地保育所等の園児、幼児を対象に、保護者や担任からの申し出をもとに、ことばに関する様々な悩みや問題について、教育相談を実施した。 2 ことばの教室における指導 (1) ことばの診断、教育相談をもとに、通級指導が適当と診断された園児、幼児に対し、個別の実態に基づく指導を行った。週1~2回の通級指導を原則とし、改善の状況を見ながら継続的に指導した。 (2) 通級指導を受けた園児、幼児 24人（平成20年度は28人）										
成 果	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">主な指標項目</th> <th style="width: 25%;">H20</th> <th style="width: 25%;">H21</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>通級する園児のうち、改善がみられた人数（割合）</td> <td style="text-align: center;">6人（21.4%）</td> <td style="text-align: center;">11人（45.8%）</td> </tr> </tbody> </table> <p>改善がみられた11名は、すべて5歳児である。 改善に不十分な点がある5歳児2名については、飯野川第一小学校ことばの教室への引き継ぎがなされている。4歳児11名については、引き続き次年度に指導が継続されている。</p>					主な指標項目	H20	H21	通級する園児のうち、改善がみられた人数（割合）	6人（21.4%）	11人（45.8%）
主な指標項目	H20	H21									
通級する園児のうち、改善がみられた人数（割合）	6人（21.4%）	11人（45.8%）									
成果に係る評価	就学前のことばの指導は、ことばの障害の発見・改善に大きな成果をもたらしている。しかし、現在の事業展開は河北地区に限定されており、市内全域への対応は困難であることから、受入体制の拡充を含め検討する必要がある。										
（単位：円）											
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳								
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源					
	72,000	68,897				68,897					

予算科目	10 款	教育費	基本計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち
	1 項	教育総務費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する
	3 目	教育指導奨励費		(2)	児童・生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ
小 事 業	学習システム整備モデル事業費				
事 業 名	学習支援室システム整備事業				
目的及び事業内容	<p>障害のある児童生徒が通常の学級に在籍して学習するための指導・支援を行う校内支援システムの構築を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該児童の実情に応じた個別の指導計画の作成 ・個別の指導計画による教育の実施 				
取 組 実 績	<p>1 当該児童の実情等に応じた個別の指導計画の作成 児童の変容等に応じ、交流の在り方などを工夫した指導計画を作成し、共通理解を図った。</p> <p>2 個別の指導計画による教育の実施</p> <p>(1) 通常の学級における教科等の指導</p> <p>(2) 学習支援室における自立活動等の指導</p> <p>(3) その他学年学級行事等への参加</p>				
成 果	<p>1 授業での交流や休み時間等のかかわりの中で、周囲の児童からの声かけや働きかけが当該児童を望ましい形で刺激しており、笑顔が出たり元気になったりの影響を与えている。</p> <p>2 通常学級在籍の児童と保護者の障害への理解が深まり、「共に生きる」社会実現に向けた基盤づくりにつながっている。</p> <p>3 学校におけるコーディネーターを中心とした特別支援教育体制の構築や関係諸機関とのネットワーク化が推進されている。また、校内での特別支援教育に関する研修が推進され、一人ひとりを大切に、思いやりの心を育む指導の充実に結び付いている。</p>				
成果に係る評価	<p>具体的な改革や改善策は該当生徒と接している担当や看護師、保護者の要望も踏まえて、所属学校において日々考慮しながら進めている。これまでの実践をふまえた成果の有用性が認められるので、現状の維持が大切である。</p>				
(単位：円)					
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳		
			国(県)支出金	地方債	その他
	1,517,000	1,516,977	750,000		

予算科目	10 款	教育費	基本計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち								
	1 項	教育総務費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する								
	3 目	教育指導奨励費		(3)	充実した教育を行える環境をつくる								
小 事 業	13歳の社会へのかけ橋づくり事業費												
事 業 名	13歳の社会へのかけ橋づくり事業												
目的及び事業内容	<p>市内中学校の全1年生が、奉仕活動や福祉体験、地域づくり支援活動などを行い、思いやりの心や公共心、勤労観、将来にわたり社会の中で生きていく力の涵養を図る。</p> <p>・地域における奉仕作業、福祉体験活動等の実施</p>												
取 組 実 績	<p>地域における奉仕作業、福祉体験活動の実施</p> <p>中学校23校において、地域の実情等を考慮した奉仕作業や福祉体験活動を実施した。</p>												
成 果	<p>市内23校の中学校の生徒が、2日間の期間で職場体験学習や地域の奉仕作業・福祉体験活動を行い、社会人との交流から挨拶や言葉遣い、仕事の厳しさや喜びを味わうことができた。また、老人ホームへの訪問を通し、老人をいたわる気持ちや奉仕の気持ちを養った。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 40%;">主な指標項目</th> <th style="width: 15%;">H19</th> <th style="width: 15%;">H20</th> <th style="width: 15%;">H21</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>奉仕活動・福祉体験等を実施した中学校数</td> <td>24校</td> <td>23校</td> <td>23校</td> </tr> </tbody> </table>					主な指標項目	H19	H20	H21	奉仕活動・福祉体験等を実施した中学校数	24校	23校	23校
主な指標項目	H19	H20	H21										
奉仕活動・福祉体験等を実施した中学校数	24校	23校	23校										
成果に係る評価	<p>中学1年生が地域社会への奉仕活動などに取り組むことで、中学1年生の社会参加意識や望ましい勤労観等の育成につながっているほか、開かれた学校づくりの推進や学校に対する地域の信頼感醸成にも結びつくことから、今後の継続が必要と考える。</p> <p>なお、県の事業であった「13歳の社会へのかけ橋づくり事業」は、平成21年度で事業終了となることから、平成22年度以降は、市の独自事業として「ふるさと大好き中学生育成事業」として実施していく。</p>												
(単位：円)													
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳										
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源							
	371,000	370,800	185,400			185,400							

予算科目	10 款	教育費	基本計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち
	1 項	教育総務費		第 1 節	「生きる」力を持つ子どもたちを育成する
	3 目	教育指導奨励費		(3)	充実した教育を行える環境をつくる
小 事 業	電子黒板を活用した教育に関する調査研究事業費				
事 業 名	電子黒板を活用した教育に関する調査研究事業				
目的及び事業内容	<p>学校における電子黒板の普及・活用の促進を図ることを目的とした、文部科学省の「電子黒板を活用した教育に関する調査研究」事業の調査委託を受け、渡波小学校において、以下の取組を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電子黒板を活用することによる、各学年及び各教科に応じた授業モデルの作成 ・授業用パソコンソフトの活用事例の蓄積 				
取 組 実 績	<ol style="list-style-type: none"> 1 電子黒板を、渡波小学校の全学級に整備（16台） 2 電子黒板を活用した授業モデルの作成 <ol style="list-style-type: none"> (1) 渡波小学校において、電子黒板を活用した授業研究会を実施し、各学年や各教科に応じた授業モデルの作成を行った。 (2) 文部科学省が主催する研修会に参加し、校内で伝達講習会を行った。 3 授業用パソコンソフトの活用事例の蓄積 <ol style="list-style-type: none"> (1) 学習内容の理解を支援し、児童の思考を深めるのに効果的な授業用パソコンソフトを、支援事業費により購入した。 (2) 購入した授業用パソコンソフトの効果的な活用について、授業実践を通して研究し、実践事例の蓄積を行った。 				
成 果	<p>電子黒板が全教室に設置されたことにより、いつでも活用できるようになり、情報機器の活用頻度が飛躍的に高まった。また、授業用パソコンソフトを使用した授業の他、教科書や児童のノートをカメラで写して拡大表示したり、音楽や映像を映したりするなどの多様な方法で活用された。</p> <p>電子黒板は、児童の視覚や聴覚に訴える学習を手軽に展開できる情報機器として優れており、児童の興味関心を引き付けながら授業を行うことができた。</p> <p>教材準備においては、従来、拡大コピー等により作成していた掲示資料が、作成の手間無く、すぐその場で掲示することができる等、教員の業務効率化においても、大変効果があった。</p>				
成果に係る評価	<p>本事業を通して、電子黒板の活用が、児童生徒にとって魅力ある授業づくりに有効であることが明らかになった。特に、全教室に配備されたことで、いつでも手軽に活用できることが、教員の電子黒板活用を促進したと言える。</p> <p>本事業の成果を発表するために、宮城県教育委員会指定による授業公開を、平成22年11月に行う予定である。電子黒板による効果を、石巻市内の教員にも広め、情報機器を活用した教育に対する研修を深めていく。</p> <p>今後、本事業の成果の普及を図るためには、各校の設備を整えていくことが必要である。</p>				
(単位：円)					
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳		
			国(県)支出金	地方債	その他
	6,597,000	6,460,600	6,460,600		

予算科目	10 款	教育費	基本計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	
	1 項	教育総務費		第 1 節	「生きる」力を持つ子どもたちを育成する	
	3 目	教育指導奨励費		(3)	充実した教育を行える環境をつくる	
小 事 業		原子力・エネルギーに関する教育支援事業費				
事 業 名		原子力・エネルギーに関する教育支援事業				
目的及び事業内容		<p>児童生徒一人一人に対し、社会生活を営む上での原子力やエネルギーの大切さについての理解を深めさせるとともに、それらの活用などを通して、自ら考え判断する力を付けさせる。</p> <p>・副教材の作成・購入</p>				
取 組 実 績		<p>本事業により、以下の教材を購入配置した。</p> <p>1 全小学校43校に、手回し発電器実験セットを配置</p> <p>2 全中学校23校に、簡易放射能検知器を配置</p> <p>3 事業希望小中学校6校に電源装置、光電池学習セット、誘導コイル等を配置</p>				
成 果		<p>小学校においては、太陽電池、燃料電池等の実験を通して、環境にやさしいエネルギーについて、楽しみながら学び、エネルギーについての理解が深まった。</p> <p>また、新学習指導要領で指導内容に加えられた発電の学習に必要な手回し発電器を、全小学校に配置することができた。</p> <p>中学校においては、エネルギーの変換、光電池、燃料電池等の実験を通して、環境にやさしいエネルギーについての理解が深まり、それらを積極的に活用しようとする関心・意欲が高まった。</p>				
成果に係る評価		<p>原子力やエネルギーについての学習は、新学習指導要領において、これまで以上に重視されている。近隣に原子力発電所が立地している本市の児童生徒にとって、未来のエネルギー利用等に関するエネルギー教育に加え、環境との共存を図る教育を進める上からも、本事業の意義は大きい。</p> <p>平成22年度についても、各学校の特色ある教育活動を支援するため事業を継続し、エネルギー教育の充実を図る。</p>				
(単位：円)						
予算の執行状況	予算額		決算額の財源内訳			
	決算額		国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	2,751,000	2,750,737	2,750,737			

予算科目	10 款	教育費	基本計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	
	1 項	教育総務費		第 1 節	「生きる」力を持つ子どもたちを育成する	
	3 目	教育指導奨励費		(2)	児童・生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ	
小 事 業	石巻の学びステップアップ事業費					
事 業 名	石巻の学びステップアップ事業					
目的及び事業内容	<p>石巻市立小・中学校長会と連携し、児童生徒一人一人の「確かな学力」の育成と学力の向上を図る。</p> <p>1 学力向上推進委員会を設置し、「授業改善」、「家庭学習支援」の具体的方策について検討し、事業を行う。</p> <p>2 支会校長会ごとに本事業の目的達成のための計画を立て実践をする。</p> <p>3 学力向上推進地区連絡協議会を設置し、各地区の取組情報交換をとおしてより効果的な方策を検討する。</p>					
取 組 実 績	<p>1 保護者や他校教職員を対象とした授業公開を実施した学校数 小・中合計10地区46校</p> <p>2 小・中合同による研修会・授業研究会を全地区で実施</p> <p>3 教員と保護者を対象に、家庭学習をテーマとして学力向上フォーラムを開催し、教員・保護者・一般合わせて約150名が参加した。</p> <p>4 家庭用リーフレット『家庭学習と生活習慣 5つのトライ! 「い・し・の・ま・き」』を作成し、石巻市内小・中学生の全家庭に配布し、啓発を図った</p>					
成 果	<p>1 小学校と中学校が合同で研修会や授業研究会を実施することが増え、小・中連携の推進が見られた。</p> <p>2 各地区に予算を配当したことで、より専門性の高い講師による研修会を実施する地区が増え、研修の充実を図ることができた。</p> <p>3 家庭学習カードの作成や活用をとおして、学校と家庭が連携する必要性について啓発が図られた。</p>					
成果に係る評価	<p>各地区の事業報告から推察すると、教員の教科指導力の向上や小・中連携の推進については一定の成果があると思われるが、生活習慣や家庭学習習慣の形成については、家庭との連携の在り方を工夫しながら取り組みを継続していく必要がある。また、本事業の成果と課題を、石巻市全体の傾向として把握する必要がある。</p>					
(単位：円)						
予算の執行状況	予算額		決算額の財源内訳			
	3,500,000	3,283,216	国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
						3,283,216

予算科目	10 款	教育費	基本計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち
	1 項	教育総務費		第 1 節	「生きる」力を持つ子どもたちを育成する
	3 目	教育指導奨励費		(2)	児童・生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ
小 事 業	問題を抱える子ども等の自立支援事業費				
事 業 名	問題を抱える子ども等の自立支援事業				
目的及び事業内容	<p>いじめ、不登校、暴力行為、児童虐待への対応といった、学校が抱える課題についての未然防止、早期発見・早期対応につながるような支援を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題を抱える児童生徒への効果的な生徒指導、学習指導等の支援 ・問題を抱える児童生徒及び保護者に対する効果的な教育相談の実施 ・家庭や関係機関等との連携 ・機能的な校内指導体制の確立 ・その他問題行動等の未然防止、早期発見・早期対応への支援 				
取 組 実 績	<p>1 不登校児童生徒の再登校を促すための学校への支援・助言 (1) 学校訪問による校長、担任、養護教諭等職員との相談による当該児童生徒の実態把握・支援等の検討・提案 (2) 不登校支援に向けての学校体制構築への支援・助言</p> <p>2 不登校児童生徒と保護者への再登校を促すための支援・助言 (1) 児童生徒、保護者との面談による親子関係の把握と実態に応じた手立ての提案 (2) 親子の内面にアプローチするためのカウンセリングや具体的な支援策の提案と実践</p> <p>3 親子の内面にアプローチするためのカウンセリングや具体的な支援策の提案と実践 (1) 東部教育事務所在学青少年育成員やスクールソーシャルワーカーとの連携 (2) 関係諸機関（県東部教育事務所・市民相談センター）との情報交換・役割分担</p> <p>4 相談員が訪問した小中学校数・回数 19校・69回（平成21年度）</p>				
成 果	<p>学校職員との情報交換・面談を通して、個々の児童生徒の実態等に応じた支援策を提案するなどして、学校の取り組みを支援することができた。</p> <p>さらに不登校児童生徒・保護者との面談を通じ、児童生徒の保護者への見方及び保護者の養育態度等を把握し、個々の親子関係に応じた具体的な支援策を提案し、実践することができた。</p>				
成果に係る評価	<p>相談員が各学校を訪問し、個別のケースに対応しているが、それらをスクールカウンセラーや他の相談機関と有機的に結び付けていくことが必要である。</p>				
(単位：円)					
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳		
			国(県)支出金	地方債	その他
	734,000	734,000	734,000		

予算科目	10 款	教育費	基本計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち																																					
	2 項	小学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する																																					
	1 目	学校管理費		(3)	充実した教育を行える環境をつくる																																					
小 事 業	小学校管理費（教育総務課）																																									
事 業 名	遠距離通学支援事業（小学校）																																									
目的及び事業内容	<p>遠距離通学の対象となるすべての児童に対し、公共交通機関やスクールバスの活用を促すことにより、安全且つ安心して通学できる仕組みを提供する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スクールバス等の運行 ・遠距離通学費補助金の交付 																																									
取 組 実 績	<p>遠距離通学の対象者のスクールバス、ボートの活用及び公共交通機関を活用した児童への、交通費の助成を行なった。</p> <p>1 スクールバス等運行委託料</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>年度</th> <th>学校数</th> <th>対象人数</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">スクールバス</td> <td>H20</td> <td>9校</td> <td>252人</td> <td>36,399,715円</td> </tr> <tr> <td>H21</td> <td>9校</td> <td>256人</td> <td>36,390,323円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">スクールボート</td> <td>H20</td> <td>1校</td> <td>2人</td> <td>1,040,000円</td> </tr> <tr> <td>H21</td> <td>1校</td> <td>1人</td> <td>1,159,000円</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 遠距離通学補助金</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>年度</th> <th>学校数</th> <th>対象人数</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">遠距離通学</td> <td>H20</td> <td>4校</td> <td>89人</td> <td>3,174,540円</td> </tr> <tr> <td>H21</td> <td>4校</td> <td>87人</td> <td>3,006,560円</td> </tr> </tbody> </table>					区分	年度	学校数	対象人数	金額	スクールバス	H20	9校	252人	36,399,715円	H21	9校	256人	36,390,323円	スクールボート	H20	1校	2人	1,040,000円	H21	1校	1人	1,159,000円	区分	年度	学校数	対象人数	金額	遠距離通学	H20	4校	89人	3,174,540円	H21	4校	87人	3,006,560円
区分	年度	学校数	対象人数	金額																																						
スクールバス	H20	9校	252人	36,399,715円																																						
	H21	9校	256人	36,390,323円																																						
スクールボート	H20	1校	2人	1,040,000円																																						
	H21	1校	1人	1,159,000円																																						
区分	年度	学校数	対象人数	金額																																						
遠距離通学	H20	4校	89人	3,174,540円																																						
	H21	4校	87人	3,006,560円																																						
成 果	<p>学校統廃合などにより遠距離通学となった児童へスクールバス等の運行や公共交通機関の利用を促すことで、登下校の安全の確保が図られた。</p>																																									
成果に係る評価	<p>遠距離通学児童の安全・安心を図るため継続が必要な事業であるが、地域の実情を考慮しつつ、適正な運行を模索していく必要がある。</p>																																									
予算の執行状況	（単位：円）																																									
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																							
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																																				
41,143,000	40,555,883				40,555,883																																					

予算科目	10 款	教育費	基本計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち										
	2 項	小学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する										
	1 目	学校管理費		(2)	児童・生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ										
小 事 業	小学校保健費														
事 業 名	学校医・薬剤師配置事業（小学校）														
目的及び事業内容	各学校に学校医等を配置し定期健診、健康相談及び衛生点検等を実施することにより、児童に係る疾病の早期発見に努めるとともに予防指導の強化を図る。 ・学校医の配置 ・学校薬剤師の配置														
取 組 実 績	<p>1 学校医の配置 市立小学校43校に、学校医を委嘱（内科、眼科、耳鼻科、歯科）し、定期健康診断や就学時健康診断の健診業務を実施</p> <p>・委嘱した学校医の人数</p> <table border="1"> <tr> <td>内 科 医</td> <td>31人</td> </tr> <tr> <td>眼 科 医</td> <td>6人</td> </tr> <tr> <td>耳 鼻 科 医</td> <td>6人</td> </tr> <tr> <td>歯 科 医</td> <td>31人</td> </tr> </table> <p>2 学校薬剤師の配置 市立小学校43校に、学校薬剤師を委嘱し、飲料水及びプール水質の検査、教室の明るさ、空気の汚れ具合などの検査を実施</p> <p>・委嘱した学校薬剤師の人数</p> <table border="1"> <tr> <td>薬 剤 師</td> <td>25人</td> </tr> </table>					内 科 医	31人	眼 科 医	6人	耳 鼻 科 医	6人	歯 科 医	31人	薬 剤 師	25人
内 科 医	31人														
眼 科 医	6人														
耳 鼻 科 医	6人														
歯 科 医	31人														
薬 剤 師	25人														
成 果	<p>1 定期健康診断等の結果に基づき、保護者、学校に対して的確な指導と助言が行われ、児童の健全育成や健康の保持増進が図られた。</p> <p>2 学校施設における日常点検や定期検査の実施等により、学校内の環境衛生の実態を把握し、基準に示された学校環境の維持や、必要に応じた対策を講じることができた。</p>														
成果に係る評価	児童に対して的確な予防指導を行っていくうえで重要な事業であり、今後も続けていく必要がある。ただ、眼科、耳鼻科などの医師不足が深刻化しており、一人の医師が複数の学校医を兼務している実態もあることから、市立病院とも連携を図るなど、学校への医師派遣事業を継続する必要がある。														
予算の執行状況	（単位：円）														
	予算額	決算額	決算額の財源内訳												
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源									
32,353,000	30,990,091	1,040,000			29,950,091										

予算科目	10 款	教育費	基本計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち																		
	2 項	小学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する																		
	1 目	学校管理費		(2)	児童・生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ																		
小 事 業	小学校保健費																						
事 業 名	健康診断・検査等実施事業（小学校）																						
目的及び事業内容	<p>定期的な健康診断や各種検査を行うことにより、児童の健康の保持増進を図り、病気等の早期発見に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期健康診断の実施 ・飲料水水質検査の実施 																						
取 組 実 績	<p>1 児童の健康診断検査項目 内科健診、眼科健診、耳鼻科健診、歯科健診、結核健診、心臓病健診、就学時健診、尿検査、寄生虫卵検査 定期健康診断については、市内小学校全学年、心臓病健診については、対象学年である1年生及び4年生に実施した。</p> <p>2 飲料水水質検査項目 遊離残留塩素、色度・濁度・臭気・味、水素イオン濃度、一般細菌、大腸菌、塩化物イオン、全有機炭素、鉄 小学校各校の上水道を飲料水とするため、年1回残留塩素及び大腸菌などの水質検査を行った。</p>																						
成 果	<p>定期健康診断を行い、児童の病気の早期発見、早期治療、生活習慣の改善を促し、児童の健康管理に努めた。また、学校の水道を飲料水としていることから、水質検査を行うことで、安全な環境の維持を図った。</p> <table border="1"> <tr> <td>1 定期健康診断</td> <td>小学生</td> <td>8,959人</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>心臓病健診</td> <td>1年生</td> <td>1,453人</td> <td>4年生</td> <td>1,536人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2 飲料水水質検査</td> <td>小学校</td> <td>43校</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>					1 定期健康診断	小学生	8,959人				心臓病健診	1年生	1,453人	4年生	1,536人		2 飲料水水質検査	小学校	43校			
1 定期健康診断	小学生	8,959人																					
心臓病健診	1年生	1,453人	4年生	1,536人																			
2 飲料水水質検査	小学校	43校																					
成果に係る評価	<p>児童の健康を保持・増進していくためには不可欠な事業であり、今後も続けていく必要がある。近年、生活習慣や食生活の乱れなどの理由により、肥満や生活習慣病といった病気の低年齢化が進み、社会的な問題となっていることから、今後は定期健診や各種検査のあり方について、検討していく必要がある。</p>																						
予算の執行状況	(単位：円)																						
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																	
17,610,000	15,874,211	69,000			15,805,211																		

予算科目	10 款	教育費	基本計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち
	2 項	小学校費		第 3 節	新たな時代を想像する人材を育成する
	1 目	学校管理費		(1)	広い視野を持つ人材をはぐくむ
小 事 業	小学校管理費（学校教育課）				
事 業 名	小学校外国語活動指導補助員モデル活用事業				
目的及び事業内容	<p>小学校学習指導要領の改訂により、小学校第5学年及び第6学年に外国語活動が新設され、平成23年度から全面実施されるため、小学校に外国語活動指導補助員を配置し、小学校外国語活動の課題等の整理及び検証を行う。</p>				
取 組 実 績	<p>1 小学校外国語活動指導補助員活用モデル校の指定 門脇小学校、鹿妻小学校、開北小学校、湊第二小学校、渡波小学校、前谷地小学校、広淵小学校、北村小学校の8校をモデル校として指定した</p> <p>2 モデル校における外国語活動 補助員4名を上記8校のモデル校に配置し、1クラス当たり年間35回の外国語活動を行った。</p>				
成 果	<p>1 児童の興味・関心の向上 (1) 外国語を生で聞かせることにより、授業を進める上で、児童の外国語への興味・関心を高めることができた。 (2) 担任と補助員が英語でデモンストレーションを行うことで、よりイメージを膨らませ外国語活動に意欲的に取り組ませることができた。</p> <p>2 コミュニケーション能力の向上 補助員の支援により、児童の発音やコミュニケーション能力を高める手法として有効であった。</p> <p>3 担任の負担軽減 外国語活動を初めて指導する教師に対し、指導員が適切にアドバイスをしており、安心して指導に当たることができることにより、担任の負担軽減につながった。</p>				
成果に係る評価	<p>小学校では総合的な学習の時間の中で外国語活動を実施しているが、実態調査では、今後の指導への不安等は少ない状況である。事業成果により、指導補助員の活用は効果的な指導方法であるため、次のような課題を解決しながら、平成23年度からの全面実施に向け、より良い事業を目指して推進していきたい。</p> <p>1 担任と補助員との打ち合わせ時間の確保 2 補助員が勤務する曜日が固定されているため、行事等で授業が変更になった場合に、代替時間の確保が難しい。</p>				
(単位：円)					
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳		
			国(県)支出金	地方債	その他
	1,785,000	1,736,550			

予算科目	10 款	教育費	基本計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち																			
	2 項	小学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する																			
	2 目	教育振興費		(3)	充実した教育を行える環境をつくる																			
小 事 業	小学校教育振興援助費																							
事 業 名	就学援助・特別支援教育就学奨励事業（小学校）																							
目的及び事業内容	<p>経済的な事情により就学が困難な児童の保護者に対し就学費の助成を行うとともに、特別支援学級へ就学する児童の保護者に対し就学奨励費の助成を行うことにより、教育機会の均等な提供に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就学援助費の助成 ・特別支援教育就学奨励費の助成 																							
取 組 実 績	1	就学援助費 助成	認定者数 949人	<table border="1"> <tr><td>学用品費</td><td>11,737,595 円</td></tr> <tr><td>校外活動費（泊無し）</td><td>1,362,030 円</td></tr> <tr><td>校外活動費（泊付き）</td><td>669,505 円</td></tr> <tr><td>通学費</td><td>13,280 円</td></tr> <tr><td>新入学用品費</td><td>2,208,900 円</td></tr> <tr><td>修学旅行費</td><td>3,559,191 円</td></tr> <tr><td>給食費</td><td>37,943,845 円</td></tr> <tr><td>医療費</td><td>2,494,920 円</td></tr> <tr><td>計</td><td>59,989,266 円</td></tr> </table>		学用品費	11,737,595 円	校外活動費（泊無し）	1,362,030 円	校外活動費（泊付き）	669,505 円	通学費	13,280 円	新入学用品費	2,208,900 円	修学旅行費	3,559,191 円	給食費	37,943,845 円	医療費	2,494,920 円	計	59,989,266 円	
	学用品費	11,737,595 円																						
校外活動費（泊無し）	1,362,030 円																							
校外活動費（泊付き）	669,505 円																							
通学費	13,280 円																							
新入学用品費	2,208,900 円																							
修学旅行費	3,559,191 円																							
給食費	37,943,845 円																							
医療費	2,494,920 円																							
計	59,989,266 円																							
2	特別支援教育就学奨励費 助成	認定者数 90人	<table border="1"> <tr><td>学用品費</td><td>494,745 円</td></tr> <tr><td>校外活動費（泊無し）</td><td>34,491 円</td></tr> <tr><td>校外活動費（泊付き）</td><td>15,561 円</td></tr> <tr><td>通学費</td><td>214,748 円</td></tr> <tr><td>新入学用品費</td><td>208,950 円</td></tr> <tr><td>修学旅行費</td><td>120,232 円</td></tr> <tr><td>給食費</td><td>1,614,120 円</td></tr> <tr><td>交流学习交通費</td><td>40,257 円</td></tr> <tr><td>ことばの教室</td><td>170,737 円</td></tr> <tr><td>計</td><td>2,913,841 円</td></tr> </table>		学用品費	494,745 円	校外活動費（泊無し）	34,491 円	校外活動費（泊付き）	15,561 円	通学費	214,748 円	新入学用品費	208,950 円	修学旅行費	120,232 円	給食費	1,614,120 円	交流学习交通費	40,257 円	ことばの教室	170,737 円	計	2,913,841 円
学用品費	494,745 円																							
校外活動費（泊無し）	34,491 円																							
校外活動費（泊付き）	15,561 円																							
通学費	214,748 円																							
新入学用品費	208,950 円																							
修学旅行費	120,232 円																							
給食費	1,614,120 円																							
交流学习交通費	40,257 円																							
ことばの教室	170,737 円																							
計	2,913,841 円																							
成 果	<p>経済的に就学困難な児童の保護者へ学校で必要となる経費を援助することにより、義務教育を円滑に実施することができた。</p> <p>また、特別支援学級へ通う児童の保護者へ必要な経費を援助することにより、経済的負担を軽減し、特別支援教育の振興を図ることができた。</p>																							
成果に係る評価	<p>経済的に就学困難な家庭や、特別支援学級に通級する児童の保護者へ経済的に支援することにより、児童の就学を確保し円滑な義務教育を図ることができることから今後も継続していく必要のある事業である。</p> <p>ただし、経済情勢が厳しいことを踏まえて、今後は認定基準や支給基準についてその状況に応じ柔軟に対応することが必要である。</p>																							
（単位：円）																								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																					
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																		
	65,774,000	62,935,107	1,217,000			61,718,107																		

予算科目	10 款	教育費	基本計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち								
	2 項	小学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する								
	2 目	教育振興費		(3)	充実した教育を行える環境をつくる								
小 事 業	小学校図書整備事業費、小学校図書整備事業費（経済危機対策分）												
事 業 名	学校図書整備事業（小学校）〔経済〕												
目的及び事業内容	全国的な傾向である小学生の読書離れが進む中、文部科学省では子どもの読書活動の推進や学校教育における言語力の涵養に資するためには、学校図書館の充実が必要であるとの認識に基づき、平成19年度から平成23年度まで「新学校図書館図書整備5カ年計画」を策定し、整備を推進している。本市も学校教育の中で、学校図書を積極的に活用し、児童の読書活動を一層推進することにより豊かな人格形成、基礎的な言語力を育む等、学習効果の向上を図るために、市内小学校の学校図書を整備するもの。平成23年度末には、当面の整備目標である、市内全ての小学校が「学校図書館図書標準」の充足率50%以上となることを目標とし、整備を実施する。												
取 組 実 績	<p>学校図書整備の当面の整備目標である、市内全ての小学校において、学校図書館標準書数に対する充足率50%以上となることを目標とし、低充足率の学校に予算を重点配分したことによる購入のほか、厚意での図書の寄附による整備により学校図書の充実を図った。</p> <p><小学校図書の整備冊数></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H18</th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7,114冊</td> <td>6,805冊</td> <td>6,438冊</td> <td>9,072冊</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 寄附・寄贈含む（緊急経済対策事業による購入冊数も含む）</p>					H18	H19	H20	H21	7,114冊	6,805冊	6,438冊	9,072冊
H18	H19	H20	H21										
7,114冊	6,805冊	6,438冊	9,072冊										
成 果	<p>学校図書の整備充実を図り、学習活動に積極的に活用することにより学習効果が図られ、児童生徒が自ら進んで言葉を学び、感性・表現力・創造力等の生きる力がより育成された。</p> <p><小学校図書の充足率></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H18</th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>61.65%</td> <td>64.39%</td> <td>66.04%</td> <td>67.54%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 平成21年度末での充足率50%の達成校 33校 ※ 数値は市内小学校の平均である</p>					H18	H19	H20	H21	61.65%	64.39%	66.04%	67.54%
H18	H19	H20	H21										
61.65%	64.39%	66.04%	67.54%										
成果に係る評価	学校図書を学習活動に積極的に活用し、学習効果の向上を図るには、児童生徒の課題解決に沿った図書が整備充実され、いつでも気軽に利用できるような環境を整えることが必要であり、学校図書整備はその基本となる事業である。												
予算の執行状況	（単位：円）												
	予算額	決算額	決算額の財源内訳										
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源							
11,200,000	11,067,483	4,400,000			6,667,483								

予算科目	10 款	教育費	基本計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち							
	2 項	小学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する							
	2 目	教育振興費		(3)	充実した教育を行える環境をつくる							
小 事 業	小学校教育用コンピューター関係費、小学校教育用コンピューター関係費（生活対策分）											
事 業 名	情報教育環境整備事業（小学校）〔生活〕											
目的及び事業内容	国際化、高度情報化、技術革新等社会情勢の変化に対応した情報教育環境を計画的に整備する。 市内小学校の教育用コンピューター及び周辺機器の更新及び賃貸借（購入又はリース）											
取 組 実 績	小学校教育用コンピューター整備状況											
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>整備年度</th> <th>整備内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H17</td> <td>河南地区5校：普通教室及びPC教室に計102台整備 牡鹿地区4校：普通教室及びPC教室に計49台整備</td> </tr> <tr> <td>H19</td> <td>石巻地区19校：普通教室及びPC教室に計350台整備 雄勝地区3校：普通教室及びPC教室に計29台整備 河南地区1校：普通教室及びPC教室に計15台整備 北上地区2校：普通教室及びPC教室に計18台整備</td> </tr> <tr> <td>H21</td> <td>河北地区5校：普通教室及びPC教室に計86台整備 桃生地区3校：普通教室及びPC教室に計56台整備</td> </tr> </tbody> </table> <p>※平成20年度については、以前に更新したリース料金等の支払いのみ ※平成21年度については、緊急経済対策事業で実施</p>					整備年度	整備内容	H17	河南地区5校：普通教室及びPC教室に計102台整備 牡鹿地区4校：普通教室及びPC教室に計49台整備	H19	石巻地区19校：普通教室及びPC教室に計350台整備 雄勝地区3校：普通教室及びPC教室に計29台整備 河南地区1校：普通教室及びPC教室に計15台整備 北上地区2校：普通教室及びPC教室に計18台整備	H21
整備年度	整備内容											
H17	河南地区5校：普通教室及びPC教室に計102台整備 牡鹿地区4校：普通教室及びPC教室に計49台整備											
H19	石巻地区19校：普通教室及びPC教室に計350台整備 雄勝地区3校：普通教室及びPC教室に計29台整備 河南地区1校：普通教室及びPC教室に計15台整備 北上地区2校：普通教室及びPC教室に計18台整備											
H21	河北地区5校：普通教室及びPC教室に計86台整備 桃生地区3校：普通教室及びPC教室に計56台整備											
成 果	<ul style="list-style-type: none"> ・児童がITの活用方法に慣れ親しみ、習熟して、主体的に活用できるよう情報活用能力の育成が図られた。 ・情報社会に参画する態度が育成され、情報モラル教育の推進が図られた。 ・各教科等においてデジタルコンテンツを活用し、分かりやすい授業を実現できた。 											
成果に係る評価	<p>市内小学校の教育用コンピューターについては、文部科学省の整備基準（児童3.6人に1台、普通教室・特別教室に校内LANの設置）を定めているが、本市の現状に促した有効的な整備内容を考察しながら、計画的に整備する。</p> <p>近年は購入による整備が進んでいることから、機器整備後の維持補修負荷が増大しており、今後の機器方法等を検討し、事務効率の向上を図りたい。</p>											
（単位：円）												
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳									
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源						
	82,540,000	81,388,972			32,000,000	49,388,972						

予算科目	10 款	教育費	基本計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち																																																					
	2 項	小学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する																																																					
	3 目	学校建設費		(3)	充実した教育を行える環境をつくる																																																					
小 事 業	釜小学校耐震補強事業費																																																									
事 業 名	釜小学校校舎地震補強事業〔公共〕																																																									
目的及び事業内容	<p>本校舎は、平成15年度に実施した耐震診断の結果、大規模な地震により倒壊又は崩壊する危険性があるとされる I S 値0.7未満の施設であり、「石巻市立学校施設耐震化整備計画」に基づき、「安全安心な学校づくり交付金」及び平成21年度に制定された「地域活性化・公共投資臨時交付金」の制度を適用し、平成20年度に実施した耐震補強設計を踏まえながら、平成21年度に耐震補強工事を実施した。また、耐震補強工事では、児童生徒数が多く、余裕教室は無く、校庭も狭いことから、学習活動に支障をきたさず、居ながらにして工事が可能な耐震補強工法を採用した。</p>																																																									
取 組 実 績	<p>1 石巻市立学校施設耐震化整備計画の策定</p> <p>(1) 平成20年12月に市立学校施設（幼稚園含む）の耐震化について、全体の事業量を把握するとともに具体的な目標と期間を設定し、着実かつ計画的に推進することを目的として、「石巻市立学校施設耐震化整備計画」を策定し、平成21年1月に市ホームページにて公表した。</p> <p>(2) 主な計画内容</p> <p>ア 耐震補強を要する47施設（20校舎・27屋内運動場）の耐震化について、平成20年度から平成29年度までの10年間で完了することを目標とする。</p> <p>イ 耐震化事業は、基本的に耐震性能の低い施設を優先し整備する。</p> <p>ウ 耐震化事業の手法は、建替方式ではなく、耐震補強工事を中心に進める。</p> <p>2 耐力度調査・耐震診断の実施</p> <p>本校舎は、平成15年度に耐震診断を実施し、その結果、大規模な地震で倒壊等の危険性があるとされる I S 値0.7未満（診断結果： I S 値0.35～0.54）で、耐震補強を要する判定となった。</p> <p>3 耐震補強設計・耐震補強工事の実施</p> <p>平成20年度に耐震補強設計、平成21年度に耐震補強工事を実施した。</p>																																																									
成 果	<p>1 耐震化状況（平成22年3月31日現在）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="4">区分</th> <th rowspan="4">全施設</th> <th colspan="4">耐震診断対象施設</th> <th rowspan="4">耐震診断対象外施設</th> </tr> <tr> <th colspan="3">耐震診断実施施設</th> <th rowspan="3">耐震診断未実施施設</th> </tr> <tr> <th colspan="2">基準値以下</th> <th rowspan="2">基準値以上</th> </tr> <tr> <th>未改修施設</th> <th>改修済施設</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>校・園舎</td> <td>71箇所</td> <td>17箇所</td> <td>8箇所</td> <td>17箇所</td> <td>0箇所</td> <td>29箇所</td> </tr> <tr> <td>屋内運動場</td> <td>65箇所</td> <td>26箇所</td> <td>6箇所</td> <td>6箇所</td> <td>0箇所</td> <td>27箇所</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>136箇所</td> <td>43箇所</td> <td>14箇所</td> <td>23箇所</td> <td>0箇所</td> <td>56箇所</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 事業実施計画（事業完了年度）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>実施年度</th> <th>校・園舎</th> <th>屋内運動場</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H22～25</td> <td>8箇所</td> <td>14箇所</td> <td>22箇所</td> </tr> <tr> <td>H26～29</td> <td>9箇所</td> <td>12箇所</td> <td>21箇所</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>17箇所</td> <td>26箇所</td> <td>43箇所</td> </tr> </tbody> </table>					区分	全施設	耐震診断対象施設				耐震診断対象外施設	耐震診断実施施設			耐震診断未実施施設	基準値以下		基準値以上	未改修施設	改修済施設	校・園舎	71箇所	17箇所	8箇所	17箇所	0箇所	29箇所	屋内運動場	65箇所	26箇所	6箇所	6箇所	0箇所	27箇所	計	136箇所	43箇所	14箇所	23箇所	0箇所	56箇所	実施年度	校・園舎	屋内運動場	計	H22～25	8箇所	14箇所	22箇所	H26～29	9箇所	12箇所	21箇所	計	17箇所	26箇所	43箇所
区分	全施設	耐震診断対象施設						耐震診断対象外施設																																																		
		耐震診断実施施設			耐震診断未実施施設																																																					
		基準値以下		基準値以上																																																						
		未改修施設	改修済施設																																																							
校・園舎	71箇所	17箇所	8箇所	17箇所	0箇所	29箇所																																																				
屋内運動場	65箇所	26箇所	6箇所	6箇所	0箇所	27箇所																																																				
計	136箇所	43箇所	14箇所	23箇所	0箇所	56箇所																																																				
実施年度	校・園舎	屋内運動場	計																																																							
H22～25	8箇所	14箇所	22箇所																																																							
H26～29	9箇所	12箇所	21箇所																																																							
計	17箇所	26箇所	43箇所																																																							
成果に係る評価	<p>学校施設は、児童生徒が一日の大半を過ごす学習・生活の場であり、地域住民にとっては学習・文化・スポーツなどに利用されている公共施設として、また、災害発生時の避難場所として重要な役割を担っており、「石巻市立学校施設耐震化整備計画」に基づき、学校施設の耐震化を着実かつ計画的に整備し、児童生徒の安全を守り、良好な教育環境の確保を図るとともに地域住民の安全と安心を確保していく必要がある。</p> <p>本校舎は、平成15年度に実施した耐震診断の結果、大規模な地震により倒壊又は崩壊する危険性があるとされる I S 値0.7未満（診断結果： I S 値0.35～0.54）の施設であり、平成20年度に耐震補強設計、平成21年度に耐震補強工事を実施した。</p>																																																									
（単位：円）																																																										
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																							
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																																																				
	128,590,000	128,587,692	105,927,000	21,500,000		1,160,692																																																				

予算科目	10 款	教育費	基本計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち																																																					
	2 項	小学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する																																																					
	3 目	学校建設費		(3)	充実した教育を行える環境をつくる																																																					
小 事 業	石巻小学校耐震補強事業費																																																									
事 業 名	石巻小学校校舎地震補強事業〔公共〕																																																									
目的及び事業内容	<p>本校舎は、平成16年度に実施した耐震診断の結果、大規模な地震により倒壊又は崩壊する危険性が高いとされる I S 値0.3未満の施設であり、「石巻市立学校施設耐震化整備計画」に基づき、「安全安心な学校づくり交付金」、平成20年6月に改正された「地震防災特別措置法」及び平成21年度に制定された「地域活性化・公共投資臨時交付金」の制度を適用し、平成20～21年度に実施した耐震補強設計及び改築設計を踏まえながら、平成21年度に耐震補強工事、平成21～22年度に校舎一部（東棟）の改築工事を実施する。</p>																																																									
取 組 実 績	<p>1 石巻市立学校施設耐震化整備計画の策定</p> <p>(1) 平成20年12月に市立学校施設（幼稚園含む）の耐震化について、全体の事業量を把握するとともに具体的な目標と期間を設定し、着実かつ計画的に推進することを目的として、「石巻市立学校施設耐震化整備計画」を策定し、平成21年1月に市ホームページにて公表した。</p> <p>(2) 主な計画内容</p> <p>ア 耐震補強を要する47施設（20校舎・27屋内運動場）の耐震化について、平成20年度から平成29年度までの10年間で完了することを目標とする。</p> <p>イ 耐震化事業は、基本的に耐震性能の低い施設を優先し整備する。</p> <p>ウ 耐震化事業の手法は、建替方式ではなく、耐震補強工事を中心に進める。</p> <p>2 耐力度調査・耐震診断の実施</p> <p>本校舎は、平成16年度に耐震診断を実施し、その結果、大規模な地震で倒壊等の危険性が高いとされる I S 値0.3未満（診断結果： I S 値0.20～0.23）で、耐震補強を要する判定となった。</p> <p>3 耐震補強設計・耐震補強工事の実施</p> <p>平成20～21年度に耐震補強設計及び改築設計、平成21年度に耐震補強工事、平成21～22年度に校舎一部（東棟）の改築工事を実施する。</p>																																																									
成 果	<p>1 耐震化状況（平成22年3月31日現在）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="4">区分</th> <th rowspan="4">全施設</th> <th colspan="4">耐震診断対象施設</th> <th rowspan="4">耐震診断 対象外施設</th> </tr> <tr> <th colspan="2">耐震診断実施施設</th> <th rowspan="2">耐震診断 未実施施設</th> <th rowspan="2"></th> </tr> <tr> <th colspan="2">基準値以下</th> <th rowspan="2">基準値以上</th> </tr> <tr> <th>未改修施設</th> <th>改修済施設</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>校・園舎</td> <td>71箇所</td> <td>17箇所</td> <td>8箇所</td> <td>17箇所</td> <td>0箇所</td> <td>29箇所</td> </tr> <tr> <td>屋内運動場</td> <td>65箇所</td> <td>26箇所</td> <td>6箇所</td> <td>6箇所</td> <td>0箇所</td> <td>27箇所</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>136箇所</td> <td>43箇所</td> <td>14箇所</td> <td>23箇所</td> <td>0箇所</td> <td>56箇所</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 事業実施計画（事業完了年度）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>実施年度</th> <th>校・園舎</th> <th>屋内運動場</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H22～25</td> <td>8箇所</td> <td>14箇所</td> <td>22箇所</td> </tr> <tr> <td>H26～29</td> <td>9箇所</td> <td>12箇所</td> <td>21箇所</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>17箇所</td> <td>26箇所</td> <td>43箇所</td> </tr> </tbody> </table>					区分	全施設	耐震診断対象施設				耐震診断 対象外施設	耐震診断実施施設		耐震診断 未実施施設		基準値以下		基準値以上	未改修施設	改修済施設	校・園舎	71箇所	17箇所	8箇所	17箇所	0箇所	29箇所	屋内運動場	65箇所	26箇所	6箇所	6箇所	0箇所	27箇所	計	136箇所	43箇所	14箇所	23箇所	0箇所	56箇所	実施年度	校・園舎	屋内運動場	計	H22～25	8箇所	14箇所	22箇所	H26～29	9箇所	12箇所	21箇所	計	17箇所	26箇所	43箇所
区分	全施設	耐震診断対象施設						耐震診断 対象外施設																																																		
		耐震診断実施施設		耐震診断 未実施施設																																																						
		基準値以下							基準値以上																																																	
		未改修施設	改修済施設																																																							
校・園舎	71箇所	17箇所	8箇所	17箇所	0箇所	29箇所																																																				
屋内運動場	65箇所	26箇所	6箇所	6箇所	0箇所	27箇所																																																				
計	136箇所	43箇所	14箇所	23箇所	0箇所	56箇所																																																				
実施年度	校・園舎	屋内運動場	計																																																							
H22～25	8箇所	14箇所	22箇所																																																							
H26～29	9箇所	12箇所	21箇所																																																							
計	17箇所	26箇所	43箇所																																																							
成果に係る評価	<p>学校施設は、児童生徒が一日の大半を過ごす学習・生活の場であり、地域住民にとっては学習・文化・スポーツなどに利用されている公共施設として、また、災害発生時の避難場所として重要な役割を担っており、「石巻市立学校施設耐震化整備計画」に基づき、学校施設の耐震化を着実かつ計画的に整備し、児童生徒の安全を守り、良好な教育環境の確保を図るとともに地域住民の安全と安心を確保していく必要がある。</p> <p>本校舎は、平成16年度に実施した耐震診断の結果、大規模な地震により倒壊又は崩壊する危険性が高いとされる I S 値0.3未満（診断結果： I S 値0.20～0.23）の施設であり、平成20年6月に改正された「地震防災特別措置法」（平成22年度までの時限立法）の制度を適用し、平成20～21年度に耐震補強設計及び改築設計、平成21年度に耐震補強工事、平成21～22年度に校舎一部（東棟）の改築工事を実施する。</p>																																																									
予算の執行状況	（単位：円）																																																									
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																							
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																																																				
	193,006,000	193,004,699	161,483,000	29,900,000		1,621,699																																																				

予算科目	10 款	教育費	基本計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち
	2 項	小学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する
	3 目	学校建設費		(3)	充実した教育を行える環境をつくる

小 事 業	住吉小学校屋内運動場耐震補強事業費
-------	-------------------

事 業 名	住吉小学校屋内運動場地震補強事業
-------	------------------

目的及び事業内容	<p>本屋内運動場は、平成19年度に実施した耐震診断の結果、大規模な地震により倒壊又は崩壊する危険性が高いとされる I S 値0.3未満の施設であり、「石巻市立学校施設耐震化整備計画」に基づき、「安全安心な学校づくり交付金」、平成20年6月に改正された「地震防災特別措置法」及び平成21年度に制定された「地域活性化・公共投資臨時交付金」の制度を適用し、平成20～21年度に実施した耐震補強設計を踏まえながら、平成21～22年度に耐震補強工事を実施する。</p> <p>また、建築非構造部材の天井材や照明器具の落下、ガラスの飛散等の防止対策（修繕工事）を実施する。</p>
----------	---

取 組 実 績	<p>1 石巻市立学校施設耐震化整備計画の策定</p> <p>(1) 平成20年12月に市立学校施設（幼稚園含む）の耐震化について、全体の事業量を把握するとともに具体的な目標と期間を設定し、着実かつ計画的に推進することを目的として、「石巻市立学校施設耐震化整備計画」を策定し、平成21年1月に市ホームページにて公表した。</p> <p>(2) 主な計画内容</p> <p>ア 耐震補強を要する47施設（20校舎・27屋内運動場）の耐震化について、平成20年度から平成29年度までの10年間で完了することを目標とする。</p> <p>イ 耐震化事業は、基本的に耐震性能の低い施設を優先し整備する。</p> <p>ウ 耐震化事業の手法は、建替方式ではなく、耐震補強工事を中心に進める。</p> <p>2 耐力度調査・耐震診断の実施</p> <p>本屋内運動場は、平成19年度に耐震診断を実施し、その結果、大規模な地震で倒壊等の危険性が高いとされる I S 値0.3未満（診断結果： I S 値0.27）で、耐震補強を要する判定となった。</p> <p>3 耐震補強設計・耐震補強工事の実施</p> <p>平成20～21年度に耐震補強設計、平成21～22年度に耐震補強工事を実施する。</p>
---------	---

成 果	1 耐震化状況（平成22年3月31日現在）	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="4">区分</th> <th rowspan="4">全施設</th> <th colspan="4">耐震診断対象施設</th> <th rowspan="4">耐震診断 未実施施設</th> <th rowspan="4">耐震診断 対象外施設</th> </tr> <tr> <th colspan="2">耐震診断実施施設</th> <th rowspan="3">基準値以上</th> <th rowspan="3">耐震診断 未実施施設</th> </tr> <tr> <th colspan="2">基準値以下</th> </tr> <tr> <th>未改修施設</th> <th>改修済施設</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>校・園舎</td> <td>71箇所</td> <td>17箇所</td> <td>8箇所</td> <td>17箇所</td> <td>0箇所</td> <td>29箇所</td> </tr> <tr> <td>屋内運動場</td> <td>65箇所</td> <td>26箇所</td> <td>6箇所</td> <td>6箇所</td> <td>0箇所</td> <td>27箇所</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>136箇所</td> <td>43箇所</td> <td>14箇所</td> <td>23箇所</td> <td>0箇所</td> <td>56箇所</td> </tr> </tbody> </table>						区分	全施設	耐震診断対象施設				耐震診断 未実施施設	耐震診断 対象外施設	耐震診断実施施設		基準値以上	耐震診断 未実施施設	基準値以下		未改修施設	改修済施設	校・園舎	71箇所	17箇所	8箇所	17箇所	0箇所	29箇所	屋内運動場	65箇所	26箇所	6箇所	6箇所	0箇所	27箇所	計	136箇所	43箇所	14箇所	23箇所	0箇所	56箇所
	区分	全施設	耐震診断対象施設				耐震診断 未実施施設			耐震診断 対象外施設																																		
			耐震診断実施施設		基準値以上	耐震診断 未実施施設																																						
基準値以下																																												
未改修施設			改修済施設																																									
校・園舎	71箇所	17箇所	8箇所	17箇所	0箇所	29箇所																																						
屋内運動場	65箇所	26箇所	6箇所	6箇所	0箇所	27箇所																																						
計	136箇所	43箇所	14箇所	23箇所	0箇所	56箇所																																						
2 事業実施計画（事業完了年度）	<table border="1"> <thead> <tr> <th>実施年度</th> <th>校・園舎</th> <th>屋内運動場</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H22～25</td> <td>8箇所</td> <td>14箇所</td> <td>22箇所</td> </tr> <tr> <td>H26～29</td> <td>9箇所</td> <td>12箇所</td> <td>21箇所</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>17箇所</td> <td>26箇所</td> <td>43箇所</td> </tr> </tbody> </table>						実施年度	校・園舎	屋内運動場	計	H22～25	8箇所	14箇所	22箇所	H26～29	9箇所	12箇所	21箇所	計	17箇所	26箇所	43箇所																						
実施年度	校・園舎	屋内運動場	計																																									
H22～25	8箇所	14箇所	22箇所																																									
H26～29	9箇所	12箇所	21箇所																																									
計	17箇所	26箇所	43箇所																																									
成果に係る評価	<p>学校施設は、児童生徒が一日の大半を過ごす学習・生活の場であり、地域住民にとっては学習・文化・スポーツなどに利用されている公共施設として、また、災害発生時の避難場所として重要な役割を担っており、「石巻市立学校施設耐震化整備計画」に基づき、学校施設の耐震化を着実かつ計画的に整備し、児童生徒の安全を守り、良好な教育環境の確保を図るとともに地域住民の安全と安心を確保していく必要がある。</p> <p>本屋内運動場は、平成19年度に実施した耐震診断の結果、大規模な地震により倒壊又は崩壊する危険性が高いとされる I S 値0.3未満（診断結果： I S 値0.27）の施設であり、平成20年6月に改正された「地震防災特別措置法」（平成22年度までの時限立法）の制度を適用し、平成20～21年度に耐震補強設計、平成21～22年度に耐震補強工事を実施する。</p>																																											

(単位：円)

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳			
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	1,685,000	1,500,500				1,500,500

予算科目	10 款	教育費	基本計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち																																																					
	2 項	小学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する																																																					
	3 目	学校建設費		(3)	充実した教育を行える環境をつくる																																																					
小 事 業	大街道小学校屋内運動場耐震補強事業費																																																									
事 業 名	大街道小学校屋内運動場地震補強事業																																																									
目的及び事業内容	<p>本屋内運動場は、平成19年度に実施した耐震診断の結果、大規模な地震により倒壊又は崩壊する危険性があるとされる I S 値0.7未満の施設であり、「石巻市立学校施設耐震化整備計画」に基づき、「安全安心な学校づくり交付金」及び平成21年度に制定された「地域活性化・公共投資臨時交付金」の制度を適用し、平成20～21年度に実施した耐震補強設計を踏まえながら、平成21～22年度に耐震補強工事を実施する。</p> <p>また、建築非構造部材の天井材や照明器具の落下、ガラスの飛散等の防止対策（修繕工事）を実施する。</p>																																																									
取 組 実 績	<p>1 石巻市立学校施設耐震化整備計画の策定</p> <p>(1) 平成20年12月に市立学校施設（幼稚園含む）の耐震化について、全体の事業量を把握するとともに具体的な目標と期間を設定し、着実かつ計画的に推進することを目的として、「石巻市立学校施設耐震化整備計画」を策定し、平成21年1月に市ホームページにて公表した。</p> <p>(2) 主な計画内容</p> <p>ア 耐震補強を要する47施設（20校舎・27屋内運動場）の耐震化について、平成20年度から平成29年度までの10年間で完了することを目標とする。</p> <p>イ 耐震化事業は、基本的に耐震性能の低い施設を優先し整備する。</p> <p>ウ 耐震化事業の手法は、建替方式ではなく、耐震補強工事を中心に進める。</p> <p>2 耐力度調査・耐震診断の実施</p> <p>本屋内運動場は、平成19年度に耐震診断を実施し、その結果、大規模な地震で倒壊等の危険性があるとされる I S 値0.7未満（診断結果： I S 値0.47）で、耐震補強を要する判定となった。</p> <p>3 耐震補強設計・耐震補強工事の実施</p> <p>平成20～21年度に耐震補強設計、平成21～22年度に耐震補強工事を実施する。</p>																																																									
成 果	<p>1 耐震化状況（平成22年3月31日現在）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="4">区分</th> <th rowspan="4">全施設</th> <th colspan="4">耐震診断対象施設</th> <th rowspan="4">耐震診断 未実施施設</th> <th rowspan="4">耐震診断 対象外施設</th> </tr> <tr> <th colspan="2">耐震診断実施施設</th> <th rowspan="3">基準値以上</th> <th rowspan="3"></th> </tr> <tr> <th colspan="2">基準値以下</th> </tr> <tr> <th>未改修施設</th> <th>改修済施設</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>校・園舎</td> <td>71箇所</td> <td>17箇所</td> <td>8箇所</td> <td>17箇所</td> <td>0箇所</td> <td>29箇所</td> </tr> <tr> <td>屋内運動場</td> <td>65箇所</td> <td>26箇所</td> <td>6箇所</td> <td>6箇所</td> <td>0箇所</td> <td>27箇所</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>136箇所</td> <td>43箇所</td> <td>14箇所</td> <td>23箇所</td> <td>0箇所</td> <td>56箇所</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 事業実施計画（事業完了年度）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>実施年度</th> <th>校・園舎</th> <th>屋内運動場</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H22～25</td> <td>8箇所</td> <td>14箇所</td> <td>22箇所</td> </tr> <tr> <td>H26～29</td> <td>9箇所</td> <td>12箇所</td> <td>21箇所</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>17箇所</td> <td>26箇所</td> <td>43箇所</td> </tr> </tbody> </table>					区分	全施設	耐震診断対象施設				耐震診断 未実施施設	耐震診断 対象外施設	耐震診断実施施設		基準値以上		基準値以下		未改修施設	改修済施設	校・園舎	71箇所	17箇所	8箇所	17箇所	0箇所	29箇所	屋内運動場	65箇所	26箇所	6箇所	6箇所	0箇所	27箇所	計	136箇所	43箇所	14箇所	23箇所	0箇所	56箇所	実施年度	校・園舎	屋内運動場	計	H22～25	8箇所	14箇所	22箇所	H26～29	9箇所	12箇所	21箇所	計	17箇所	26箇所	43箇所
区分	全施設	耐震診断対象施設						耐震診断 未実施施設	耐震診断 対象外施設																																																	
		耐震診断実施施設		基準値以上																																																						
		基準値以下																																																								
		未改修施設	改修済施設																																																							
校・園舎	71箇所	17箇所	8箇所	17箇所	0箇所	29箇所																																																				
屋内運動場	65箇所	26箇所	6箇所	6箇所	0箇所	27箇所																																																				
計	136箇所	43箇所	14箇所	23箇所	0箇所	56箇所																																																				
実施年度	校・園舎	屋内運動場	計																																																							
H22～25	8箇所	14箇所	22箇所																																																							
H26～29	9箇所	12箇所	21箇所																																																							
計	17箇所	26箇所	43箇所																																																							
成果に係る評価	<p>学校施設は、児童生徒が一日の大半を過ごす学習・生活の場であり、地域住民にとっては学習・文化・スポーツなどに利用されている公共施設として、また、災害発生時の避難場所として重要な役割を担っており、「石巻市立学校施設耐震化整備計画」に基づき、学校施設の耐震化を着実かつ計画的に整備し、児童生徒の安全を守り、良好な教育環境の確保を図るとともに地域住民の安全と安心を確保していく必要がある。</p> <p>本屋内運動場は、平成19年度に実施した耐震診断の結果、大規模な地震により倒壊又は崩壊する危険性があるとされる I S 値0.7未満（診断結果： I S 値0.47）の施設であり、平成20～21年度に耐震補強設計、平成21～22年度に耐震補強工事を実施する。</p>																																																									
予算の執行状況	（単位：円）																																																									
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																							
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																																																				
1,256,000	1,022,990				1,022,990																																																					

予算科目	10 款	教育費	基本計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち																																																							
	2 項	小学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する																																																							
	3 目	学校建設費		(3)	充実した教育を行える環境をつくる																																																							
小 事 業	湊第二小学校屋内運動場耐震補強事業費																																																											
事 業 名	湊第二小学校屋内運動場地震補強事業																																																											
目的及び事業内容	<p>本屋内運動場は、平成18年度に実施した耐震診断の結果、大規模な地震により倒壊又は崩壊する危険性が高いとされる I S 値0.3未満の施設であり、「石巻市立学校施設耐震化整備計画」に基づき、「安全安心な学校づくり交付金」、平成20年6月に改正された「地震防災特別措置法」及び平成21年度に制定された「地域活性化・公共投資臨時交付金」の制度を適用し、平成20～21年度に実施した耐震補強設計を踏まえながら、平成21～22年度に耐震補強工事を実施する。</p> <p>また、建築非構造部材の天井材や照明器具の落下、ガラスの飛散等の防止対策（修繕工事）を実施する。</p>																																																											
取 組 実 績	<p>1 石巻市立学校施設耐震化整備計画の策定</p> <p>(1) 平成20年12月に市立学校施設（幼稚園含む）の耐震化について、全体の事業量を把握するとともに具体的な目標と期間を設定し、着実かつ計画的に推進することを目的として、「石巻市立学校施設耐震化整備計画」を策定し、平成21年1月に市ホームページにて公表した。</p> <p>(2) 主な計画内容</p> <p>ア 耐震補強を要する47施設（20校舎・27屋内運動場）の耐震化について、平成20年度から平成29年度までの10年間で完了することを目標とする。</p> <p>イ 耐震化事業は、基本的に耐震性能の低い施設を優先し整備する。</p> <p>ウ 耐震化事業の手法は、建替方式ではなく、耐震補強工事を中心に進める。</p> <p>2 耐力度調査・耐震診断の実施</p> <p>本屋内運動場は、平成18年度に耐震診断を実施し、その結果、大規模な地震で倒壊等の危険性が高いとされる I S 値0.3未満（診断結果： I S 値0.12）で、耐震補強を要する判定となった。</p> <p>3 耐震補強設計・耐震補強工事の実施</p> <p>平成20～21年度に耐震補強設計、平成21～22年度に耐震補強工事を実施する。</p>																																																											
成 果	<p>1 耐震化状況（平成22年3月31日現在）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="4">区分</th> <th rowspan="4">全施設</th> <th colspan="4">耐震診断対象施設</th> <th rowspan="4">耐震診断 対象外施設</th> </tr> <tr> <th colspan="2">耐震診断実施施設</th> <th rowspan="2">耐震診断 未実施施設</th> <th rowspan="2"></th> </tr> <tr> <th>基準値以下</th> <th>基準値以上</th> <th></th> </tr> <tr> <th>未改修施設</th> <th>改修済施設</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>校・園舎</td> <td>71箇所</td> <td>17箇所</td> <td>8箇所</td> <td>17箇所</td> <td>0箇所</td> <td>29箇所</td> </tr> <tr> <td>屋内運動場</td> <td>65箇所</td> <td>26箇所</td> <td>6箇所</td> <td>6箇所</td> <td>0箇所</td> <td>27箇所</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>136箇所</td> <td>43箇所</td> <td>14箇所</td> <td>23箇所</td> <td>0箇所</td> <td>56箇所</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 事業実施計画（事業完了年度）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施年度</th> <th>校・園舎</th> <th>屋内運動場</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H22～25</td> <td>8箇所</td> <td>14箇所</td> <td>22箇所</td> </tr> <tr> <td>H26～29</td> <td>9箇所</td> <td>12箇所</td> <td>21箇所</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>17箇所</td> <td>26箇所</td> <td>43箇所</td> </tr> </tbody> </table>					区分	全施設	耐震診断対象施設				耐震診断 対象外施設	耐震診断実施施設		耐震診断 未実施施設		基準値以下	基準値以上		未改修施設	改修済施設			校・園舎	71箇所	17箇所	8箇所	17箇所	0箇所	29箇所	屋内運動場	65箇所	26箇所	6箇所	6箇所	0箇所	27箇所	計	136箇所	43箇所	14箇所	23箇所	0箇所	56箇所	実施年度	校・園舎	屋内運動場	計	H22～25	8箇所	14箇所	22箇所	H26～29	9箇所	12箇所	21箇所	計	17箇所	26箇所	43箇所
区分	全施設	耐震診断対象施設						耐震診断 対象外施設																																																				
		耐震診断実施施設		耐震診断 未実施施設																																																								
		基準値以下	基準値以上																																																									
		未改修施設	改修済施設																																																									
校・園舎	71箇所	17箇所	8箇所	17箇所	0箇所	29箇所																																																						
屋内運動場	65箇所	26箇所	6箇所	6箇所	0箇所	27箇所																																																						
計	136箇所	43箇所	14箇所	23箇所	0箇所	56箇所																																																						
実施年度	校・園舎	屋内運動場	計																																																									
H22～25	8箇所	14箇所	22箇所																																																									
H26～29	9箇所	12箇所	21箇所																																																									
計	17箇所	26箇所	43箇所																																																									
成果に係る評価	<p>学校施設は、児童生徒が一日の大半を過ごす学習・生活の場であり、地域住民にとっては学習・文化・スポーツなどに利用されている公共施設として、また、災害発生時の避難場所として重要な役割を担っており、「石巻市立学校施設耐震化整備計画」に基づき、学校施設の耐震化を着実かつ計画的に整備し、児童生徒の安全を守り、良好な教育環境の確保を図るとともに地域住民の安全と安心を確保していく必要がある。</p> <p>本屋内運動場は、平成18年度に実施した耐震診断の結果、大規模な地震により倒壊又は崩壊する危険性が高いとされる I S 値0.3未満（診断結果： I S 値0.12）の施設であり、平成20年6月に改正された「地震防災特別措置法」（平成22年度までの時限立法）の制度を適用し、平成20～21年度に耐震補強設計、平成21～22年度に耐震補強工事を実施する。</p>																																																											
予算の執行状況	（単位：円）																																																											
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																									
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																																																						
	1,125,000	940,500				940,500																																																						

予算科目	10 款	教育費	基本計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち
	2 項	小学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する
	3 目	学校建設費		(3)	充実した教育を行える環境をつくる

小 事 業	蛇田小学校屋内運動場耐震補強事業費
-------	-------------------

事 業 名	蛇田小学校屋内運動場地震補強事業
-------	------------------

目的及び事業内容	<p>本屋内運動場は、平成19年度に実施した耐震診断の結果、大規模な地震により倒壊又は崩壊する危険性があるとされる I S 値0.7未満の施設であり、「石巻市立学校施設耐震化整備計画」に基づき、「安全安心な学校づくり交付金」及び平成21年度に制定された「地域活性化・公共投資臨時交付金」の制度を適用し、平成20～21年度に実施した耐震補強設計を踏まえながら、平成21～22年度に耐震補強工事を実施する。</p> <p>また、建築非構造部材の天井材や照明器具の落下、ガラスの飛散等の防止対策（修繕工事）を実施する。</p>
----------	--

取 組 実 績	<p>1 石巻市立学校施設耐震化整備計画の策定</p> <p>(1) 平成20年12月に市立学校施設（幼稚園含む）の耐震化について、全体の事業量を把握するとともに具体的な目標と期間を設定し、着実かつ計画的に推進することを目的として、「石巻市立学校施設耐震化整備計画」を策定し、平成21年1月に市ホームページにて公表した。</p> <p>(2) 主な計画内容</p> <p>ア 耐震補強を要する47施設（20校舎・27屋内運動場）の耐震化について、平成20年度から平成29年度までの10年間で完了することを目標とする。</p> <p>イ 耐震化事業は、基本的に耐震性能の低い施設を優先し整備する。</p> <p>ウ 耐震化事業の手法は、建替方式ではなく、耐震補強工事を中心に進める。</p> <p>2 耐力度調査・耐震診断の実施</p> <p>本屋内運動場は、平成19年度に耐震診断を実施し、その結果、大規模な地震で倒壊等の危険性が高いとされる I S 値0.3未満（診断結果： I S 値0.29）で、耐震補強を要する判定となった。</p> <p>3 耐震補強設計・耐震補強工事の実施</p> <p>平成20～21年度に耐震補強設計、平成21～22年度に耐震補強工事を実施する。</p>
---------	---

成 果	1 耐震化状況（平成22年3月31日現在）	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="4">区分</th> <th rowspan="4">全施設</th> <th colspan="4">耐震診断対象施設</th> <th rowspan="4">耐震診断 未実施施設</th> <th rowspan="4">耐震診断 対象外施設</th> </tr> <tr> <th colspan="2">耐震診断実施施設</th> <th rowspan="3">基準値以上</th> <th rowspan="3"></th> </tr> <tr> <th colspan="2">基準値以下</th> </tr> <tr> <th>未改修施設</th> <th>改修済施設</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>校・園舎</td> <td>71箇所</td> <td>17箇所</td> <td>8箇所</td> <td>17箇所</td> <td>0箇所</td> <td>29箇所</td> </tr> <tr> <td>屋内運動場</td> <td>65箇所</td> <td>26箇所</td> <td>6箇所</td> <td>6箇所</td> <td>0箇所</td> <td>27箇所</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>136箇所</td> <td>43箇所</td> <td>14箇所</td> <td>23箇所</td> <td>0箇所</td> <td>56箇所</td> </tr> </tbody> </table>						区分	全施設	耐震診断対象施設				耐震診断 未実施施設	耐震診断 対象外施設	耐震診断実施施設		基準値以上		基準値以下		未改修施設	改修済施設	校・園舎	71箇所	17箇所	8箇所	17箇所	0箇所	29箇所	屋内運動場	65箇所	26箇所	6箇所	6箇所	0箇所	27箇所	計	136箇所	43箇所	14箇所	23箇所	0箇所	56箇所
	区分	全施設	耐震診断対象施設				耐震診断 未実施施設			耐震診断 対象外施設																																		
			耐震診断実施施設		基準値以上																																							
基準値以下																																												
未改修施設			改修済施設																																									
校・園舎	71箇所	17箇所	8箇所	17箇所	0箇所	29箇所																																						
屋内運動場	65箇所	26箇所	6箇所	6箇所	0箇所	27箇所																																						
計	136箇所	43箇所	14箇所	23箇所	0箇所	56箇所																																						
2 事業実施計画（事業完了年度）	<table border="1"> <thead> <tr> <th>実施年度</th> <th>校・園舎</th> <th>屋内運動場</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H22～25</td> <td>8箇所</td> <td>14箇所</td> <td>22箇所</td> </tr> <tr> <td>H26～29</td> <td>9箇所</td> <td>12箇所</td> <td>21箇所</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>17箇所</td> <td>26箇所</td> <td>43箇所</td> </tr> </tbody> </table>						実施年度	校・園舎	屋内運動場	計	H22～25	8箇所	14箇所	22箇所	H26～29	9箇所	12箇所	21箇所	計	17箇所	26箇所	43箇所																						
実施年度	校・園舎	屋内運動場	計																																									
H22～25	8箇所	14箇所	22箇所																																									
H26～29	9箇所	12箇所	21箇所																																									
計	17箇所	26箇所	43箇所																																									
成果に係る評価	<p>学校施設は、児童生徒が一日の大半を過ごす学習・生活の場であり、地域住民にとっては学習・文化・スポーツなどに利用されている公共施設として、また、災害発生時の避難場所として重要な役割を担っており、「石巻市立学校施設耐震化整備計画」に基づき、学校施設の耐震化を着実かつ計画的に整備し、児童生徒の安全を守り、良好な教育環境の確保を図るとともに地域住民の安全と安心を確保していく必要がある。</p> <p>本屋内運動場は、平成19年度に実施した耐震診断の結果、大規模な地震により倒壊又は崩壊する危険性が高いとされる I S 値0.3未満（診断結果： I S 値0.29）の施設であり、平成20年6月に改正された「地震防災特別措置法」（平成22年度までの時限立法）の制度を適用し、平成20～21年度に耐震補強設計、平成21～22年度に耐震補強工事を実施する。</p>																																											

(単位：円)

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳			
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	1,189,000	951,580				951,580

予算科目	10 款	教育費	基本計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち																																																					
	2 項	小学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する																																																					
	3 目	学校建設費		(3)	充実した教育を行える環境をつくる																																																					
小 事 業	雄勝小学校屋内運動場耐震補強事業費																																																									
事 業 名	雄勝小学校屋内運動場地震補強事業																																																									
目的及び事業内容	<p>本屋内運動場は、平成19年度に実施した耐震診断の結果、大規模な地震により倒壊又は崩壊する危険性が高いとされる I S 値0.3未満の施設であり、「石巻市立学校施設耐震化整備計画」に基づき、「安全安心な学校づくり交付金」、平成20年6月に改正された「地震防災特別措置法」及び平成21年度に制定された「地域活性化・公共投資臨時交付金」の制度を適用し、平成20～21年度に実施した耐震補強設計を踏まえながら、平成21～22年度に耐震補強工事を実施する。</p> <p>また、建築非構造部材の天井材や照明器具の落下、ガラスの飛散等の防</p>																																																									
取 組 実 績	<p>1 石巻市立学校施設耐震化整備計画の策定</p> <p>(1) 平成20年12月に市立学校施設（幼稚園含む）の耐震化について、全体の事業量を把握するとともに具体的な目標と期間を設定し、着実かつ計画的に推進することを目的として、「石巻市立学校施設耐震化整備計画」を策定し、平成21年1月に市ホームページにて公表した。</p> <p>(2) 主な計画内容</p> <p>ア 耐震補強を要する47施設（20校舎・27屋内運動場）の耐震化について、平成20年度から平成29年度までの10年間で完了することを目標とする。</p> <p>イ 耐震化事業は、基本的に耐震性能の低い施設を優先し整備する。</p> <p>ウ 耐震化事業の手法は、建替方式ではなく、耐震補強工事を中心に進める。</p> <p>2 耐力度調査・耐震診断の実施</p> <p>本屋内運動場は、平成19年度に耐震診断を実施し、その結果、大規模な地震で倒壊等の危険性が高いとされる I S 値0.3未満（診断結果： I S 値0.29）で、耐震補強を要する判定となった。</p> <p>3 耐震補強設計・耐震補強工事の実施</p> <p>平成20～21年度に耐震補強設計、平成21～22年度に耐震補強工事を実施する。</p>																																																									
成 果	<p>1 耐震化状況（平成22年3月31日現在）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="4">区分</th> <th rowspan="4">全施設</th> <th colspan="4">耐震診断対象施設</th> <th rowspan="4">耐震診断 対象外施設</th> </tr> <tr> <th colspan="3">耐震診断実施施設</th> <th rowspan="3">耐震診断 未実施施設</th> </tr> <tr> <th colspan="2">基準値以下</th> <th rowspan="2">基準値以上</th> </tr> <tr> <th>未改修施設</th> <th>改修済施設</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>校・園舎</td> <td>71箇所</td> <td>17箇所</td> <td>8箇所</td> <td>17箇所</td> <td>0箇所</td> <td>29箇所</td> </tr> <tr> <td>屋内運動場</td> <td>65箇所</td> <td>26箇所</td> <td>6箇所</td> <td>6箇所</td> <td>0箇所</td> <td>27箇所</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>136箇所</td> <td>43箇所</td> <td>14箇所</td> <td>23箇所</td> <td>0箇所</td> <td>56箇所</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 事業実施計画（事業完了年度）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>実施年度</th> <th>校・園舎</th> <th>屋内運動場</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H22～25</td> <td>8箇所</td> <td>14箇所</td> <td>22箇所</td> </tr> <tr> <td>H26～29</td> <td>9箇所</td> <td>12箇所</td> <td>21箇所</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>17箇所</td> <td>26箇所</td> <td>43箇所</td> </tr> </tbody> </table>					区分	全施設	耐震診断対象施設				耐震診断 対象外施設	耐震診断実施施設			耐震診断 未実施施設	基準値以下		基準値以上	未改修施設	改修済施設	校・園舎	71箇所	17箇所	8箇所	17箇所	0箇所	29箇所	屋内運動場	65箇所	26箇所	6箇所	6箇所	0箇所	27箇所	計	136箇所	43箇所	14箇所	23箇所	0箇所	56箇所	実施年度	校・園舎	屋内運動場	計	H22～25	8箇所	14箇所	22箇所	H26～29	9箇所	12箇所	21箇所	計	17箇所	26箇所	43箇所
区分	全施設	耐震診断対象施設						耐震診断 対象外施設																																																		
		耐震診断実施施設			耐震診断 未実施施設																																																					
		基準値以下		基準値以上																																																						
		未改修施設	改修済施設																																																							
校・園舎	71箇所	17箇所	8箇所	17箇所	0箇所	29箇所																																																				
屋内運動場	65箇所	26箇所	6箇所	6箇所	0箇所	27箇所																																																				
計	136箇所	43箇所	14箇所	23箇所	0箇所	56箇所																																																				
実施年度	校・園舎	屋内運動場	計																																																							
H22～25	8箇所	14箇所	22箇所																																																							
H26～29	9箇所	12箇所	21箇所																																																							
計	17箇所	26箇所	43箇所																																																							
成果に係る評価	<p>学校施設は、児童生徒が一日の大半を過ごす学習・生活の場であり、地域住民にとっては学習・文化・スポーツなどに利用されている公共施設として、また、災害発生時の避難場所として重要な役割を担っており、「石巻市立学校施設耐震化整備計画」に基づき、学校施設の耐震化を着実かつ計画的に整備し、児童生徒の安全を守り、良好な教育環境の確保を図るとともに地域住民の安全と安心を確保していく必要がある。</p> <p>本屋内運動場は、平成19年度に実施した耐震診断の結果、大規模な地震により倒壊又は崩壊する危険性が高いとされる I S 値0.3未満</p>																																																									
予算の執行状況	（単位：円）																																																									
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																							
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																																																				
1,532,000	1,297,100				1,297,100																																																					

予算科目	10 款	教育費	基本計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち
	2 項	小学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する
	3 目	学校建設費		(3)	充実した教育を行える環境をつくる

小 事 業	和渚小学校屋内運動場耐震補強事業費
-------	-------------------

事 業 名	和渚小学校屋内運動場地震補強事業
-------	------------------

目的及び事業内容	<p>本屋内運動場は、平成19年度に実施した耐震診断の結果、大規模な地震により倒壊又は崩壊する危険性が高いとされる I S 値0.3未満の施設であり、「石巻市立学校施設耐震化整備計画」に基づき、「安全安心な学校づくり交付金」、平成20年6月に改正された「地震防災特別措置法」及び平成21年度に制定された「地域活性化・公共投資臨時交付金」の制度を適用し、平成20～21年度に実施した耐震補強設計を踏まえながら、平成21～22年度に耐震補強工事を実施する。</p> <p>また、建築非構造部材の天井材や照明器具の落下、ガラスの飛散等の防止対策（修繕工事）を実施する。</p>
----------	---

取 組 実 績	<p>1 石巻市立学校施設耐震化整備計画の策定</p> <p>(1) 平成20年12月に市立学校施設（幼稚園含む）の耐震化について、全体の事業量を把握するとともに具体的な目標と期間を設定し、着実かつ計画的に推進することを目的として、「石巻市立学校施設耐震化整備計画」を策定し、平成21年1月に市ホームページにて公表した。</p> <p>(2) 主な計画内容</p> <p>ア 耐震補強を要する47施設（20校舎・27屋内運動場）の耐震化について、平成20年度から平成29年度までの10年間で完了することを目標とする。</p> <p>イ 耐震化事業は、基本的に耐震性能の低い施設を優先し整備する。</p> <p>ウ 耐震化事業の手法は、建替方式ではなく、耐震補強工事を中心に進める。</p> <p>2 耐力度調査・耐震診断の実施</p> <p>本屋内運動場は、平成19年度に耐震診断を実施し、その結果、大規模な地震で倒壊等の危険性が高いとされる I S 値0.3未満（診断結果： I S 値0.28）で、耐震補強を要する判定となった。</p> <p>3 耐震補強設計・耐震補強工事の実施</p> <p>平成20～21年度に耐震補強設計、平成21～22年度に耐震補強工事を実施する。</p>
---------	---

成 果	1 耐震化状況（平成22年3月31日現在）	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="4">区分</th> <th rowspan="4">全施設</th> <th colspan="4">耐震診断対象施設</th> <th rowspan="4">耐震診断対象外施設</th> </tr> <tr> <th colspan="2">耐震診断実施施設</th> <th rowspan="2">耐震診断未実施施設</th> <th rowspan="2"></th> </tr> <tr> <th>基準値以下</th> <th>基準値以上</th> <th></th> </tr> <tr> <th>未改修施設</th> <th>改修済施設</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>校・園舎</td> <td>71箇所</td> <td>17箇所</td> <td>8箇所</td> <td>17箇所</td> <td>0箇所</td> <td>29箇所</td> </tr> <tr> <td>屋内運動場</td> <td>65箇所</td> <td>26箇所</td> <td>6箇所</td> <td>6箇所</td> <td>0箇所</td> <td>27箇所</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>136箇所</td> <td>43箇所</td> <td>14箇所</td> <td>23箇所</td> <td>0箇所</td> <td>56箇所</td> </tr> </tbody> </table>						区分	全施設	耐震診断対象施設				耐震診断対象外施設	耐震診断実施施設		耐震診断未実施施設		基準値以下	基準値以上		未改修施設	改修済施設		校・園舎	71箇所	17箇所	8箇所	17箇所	0箇所	29箇所	屋内運動場	65箇所	26箇所	6箇所	6箇所	0箇所	27箇所	計	136箇所	43箇所	14箇所	23箇所	0箇所	56箇所
	区分	全施設	耐震診断対象施設				耐震診断対象外施設																																						
			耐震診断実施施設		耐震診断未実施施設																																								
基準値以下			基準値以上																																										
未改修施設			改修済施設																																										
校・園舎	71箇所	17箇所	8箇所	17箇所	0箇所	29箇所																																							
屋内運動場	65箇所	26箇所	6箇所	6箇所	0箇所	27箇所																																							
計	136箇所	43箇所	14箇所	23箇所	0箇所	56箇所																																							
2 事業実施計画（事業完了年度）	<table border="1"> <thead> <tr> <th>実施年度</th> <th>校・園舎</th> <th>屋内運動場</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H22～25</td> <td>8箇所</td> <td>14箇所</td> <td>22箇所</td> </tr> <tr> <td>H26～29</td> <td>9箇所</td> <td>12箇所</td> <td>21箇所</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>17箇所</td> <td>26箇所</td> <td>43箇所</td> </tr> </tbody> </table>						実施年度	校・園舎	屋内運動場	計	H22～25	8箇所	14箇所	22箇所	H26～29	9箇所	12箇所	21箇所	計	17箇所	26箇所	43箇所																							
実施年度	校・園舎	屋内運動場	計																																										
H22～25	8箇所	14箇所	22箇所																																										
H26～29	9箇所	12箇所	21箇所																																										
計	17箇所	26箇所	43箇所																																										
成果に係る評価	<p>学校施設は、児童生徒が一日の大半を過ごす学習・生活の場であり、地域住民にとっては学習・文化・スポーツなどに利用されている公共施設として、また、災害発生時の避難場所として重要な役割を担っており、「石巻市立学校施設耐震化整備計画」に基づき、学校施設の耐震化を着実かつ計画的に整備し、児童生徒の安全を守り、良好な教育環境の確保を図るとともに地域住民の安全と安心を確保していく必要がある。</p> <p>本屋内運動場は、平成19年度に実施した耐震診断の結果、大規模な地震により倒壊又は崩壊する危険性が高いとされる I S 値0.3未満</p>																																												

(単位：円)

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳			
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	1,378,000	1,142,470				1,142,470